



株式会社 ココルポート

2026年6月期 第1四半期

決算説明資料

【証券コード:9346】



企業理念

**私たちは一人ひとりの可能性を信じ、
自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。**

私たちは一人ひとりが様々な可能性を持っていることを知っています。
そして、一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、関わる全ての人たちと
共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

1. 中長期の成長戦略
2. エグゼクティブ・サマリー
3. 決算概要(2026年6月期 第1四半期)
4. 業績予想(2026年6月期)
5. 株主還元
6. 【参考】マーケットと会社概要
7. 【参考】競争優位性

1.中長期の成長戦略



株式会社コクルポート（Cocorport, Inc.）

CO(コ)は英語の「一緒に、共に」。

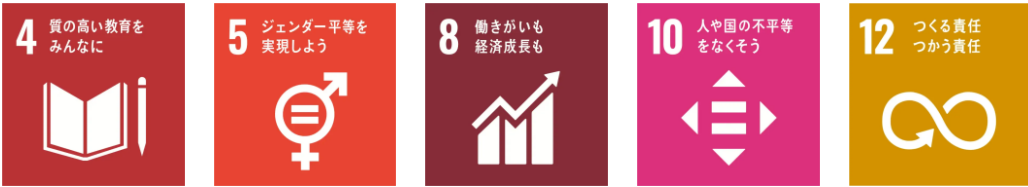
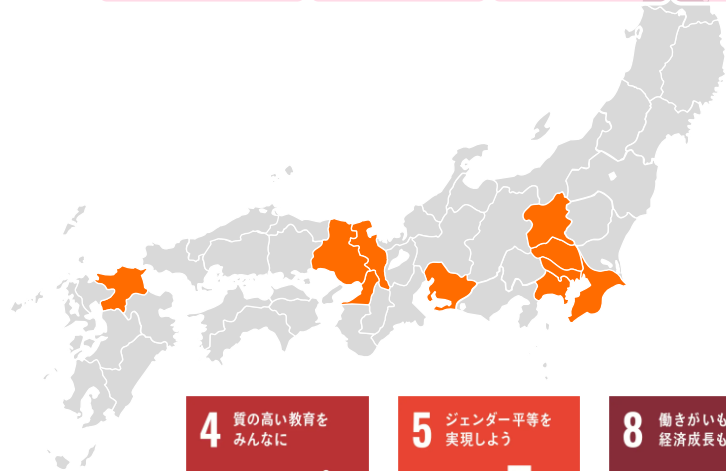
COR(コル)はラテン語で「心、気持ち」。

PORT(ポート)は英語の「港」。

- ◆ 設立 2012年1月5日
- ◆ 事業内容 障害者総合支援法に基づく
障害福祉サービス事業
- ◆ 本社 神奈川県川崎市川崎区
- ◆ 従業員数※1 787人

サービス別事業所の状況※1※2

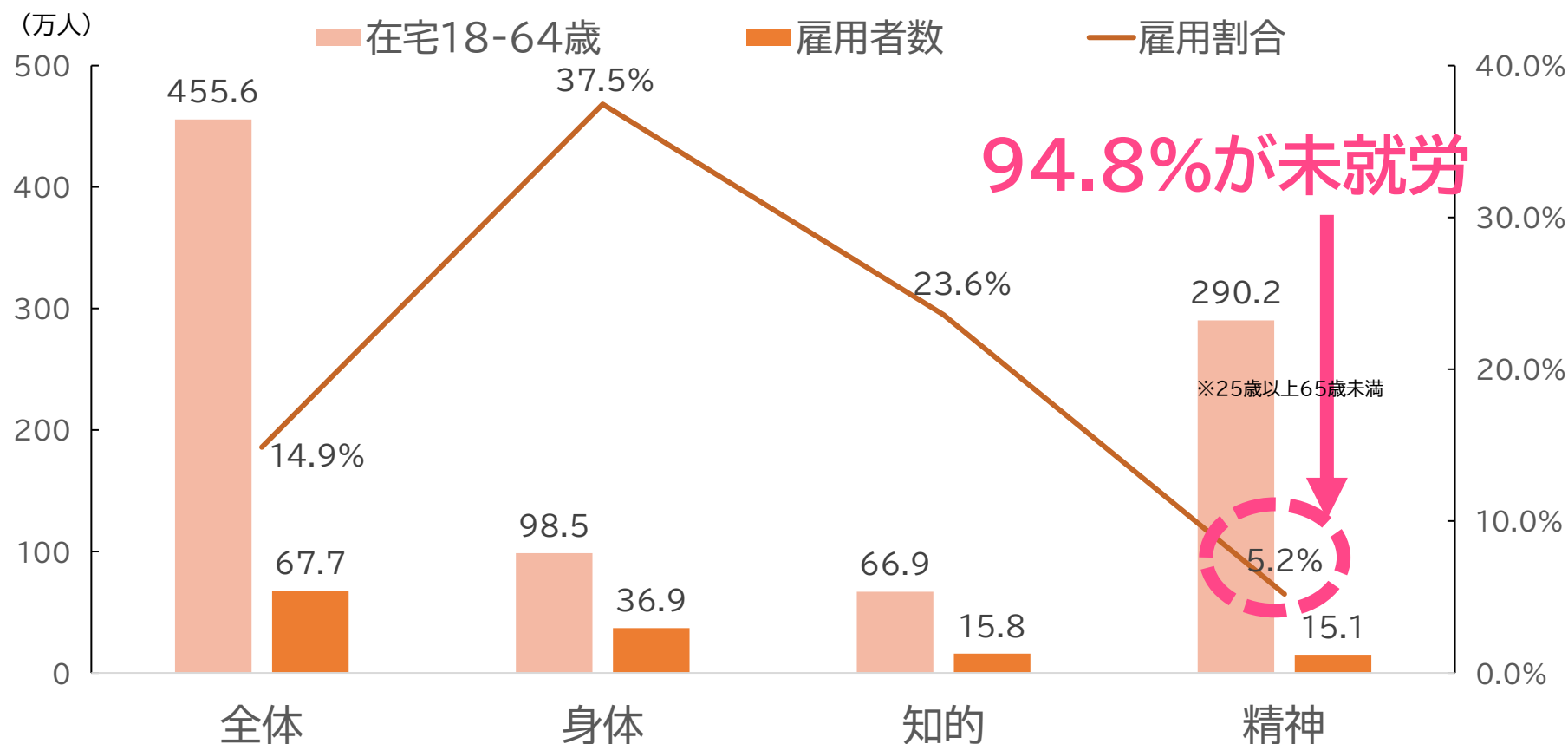
(単位:拠点)		関東	関西	東海	福岡
就労移行 支援※3	84 (70)	66 (56)	10 (7)	5 (5)	3 (2)
自立訓練 ※4	39	32	3	2	2



※1 2025年9月末時点(プレオープン含む)
※3 括弧書きの数値は、内数で就労定着支援併設の事業所数

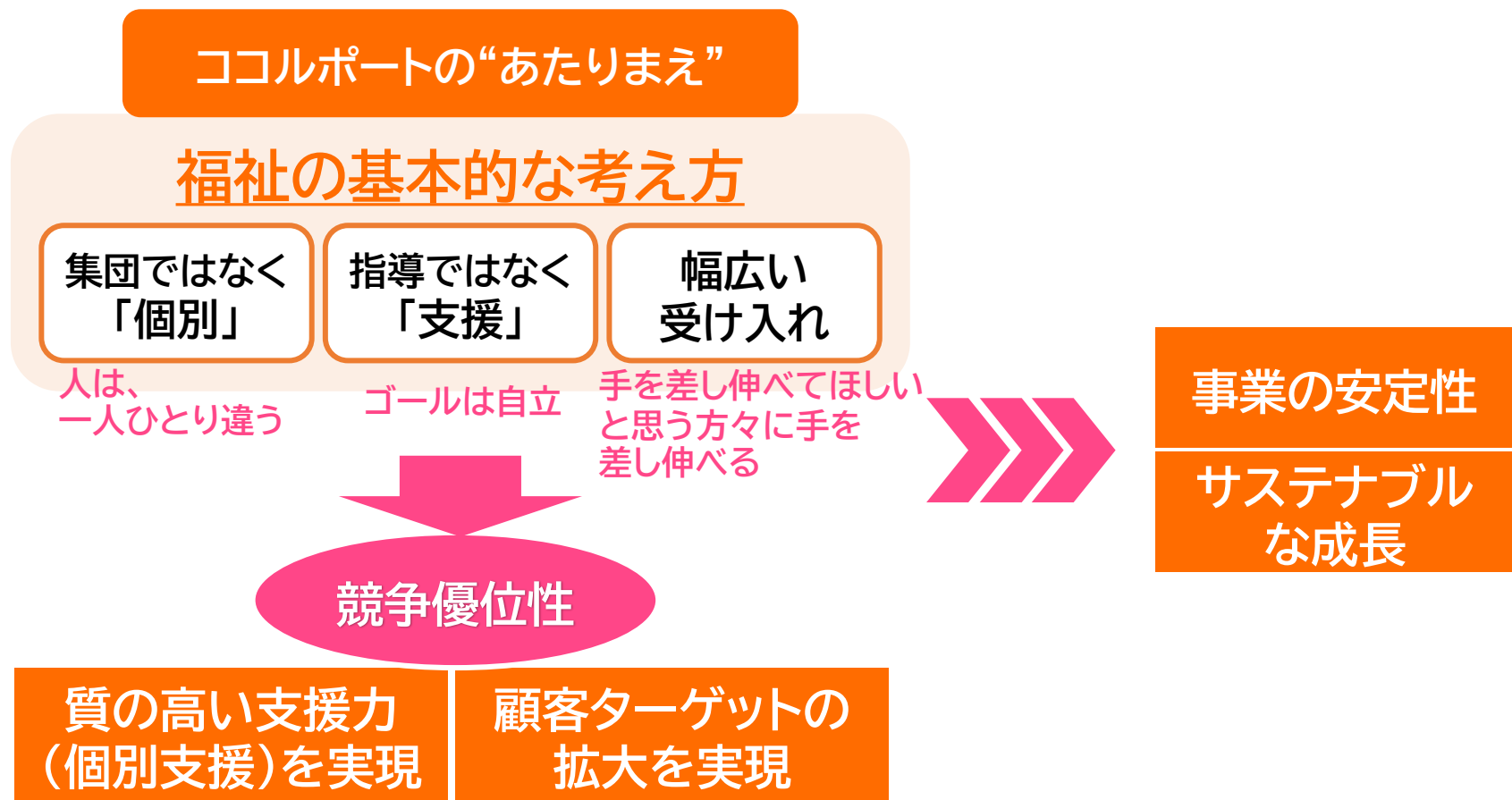
※2 本表以外に指定計画相談支援事業所5拠点
※4 Cocorport Rework 含む

- (メインターゲットである)精神障がいのある方のほとんどが未就労。
- 当社サービスのご利用者様になりうる方が多く存在(潜在顧客が多い)。
※当社ご利用者様の約80%は精神障がい(発達障がい含む)。



出典：内閣府「2025年版 障害者白書」
厚生労働省「2025年 障害者雇用状況の集計結果」より当社作成

- ココルポートの競争優位性を活かし、就職者数を安定的に輩出。
⇒ 就労移行支援事業所の高報酬単価を安定的に獲得することで、
事業の安定性と**サステナブルな成長**を継続。



競争優位性②:一気通貫の“障害福祉サービス”の実現

- 「自立訓練(生活訓練)※Cocorport College」「就労移行支援」「就労定着支援」「リワーク」のサービスを一体として提供する体制を整えることでシナジーが生まれる。

自立訓練(生活訓練)
※Cocorport College

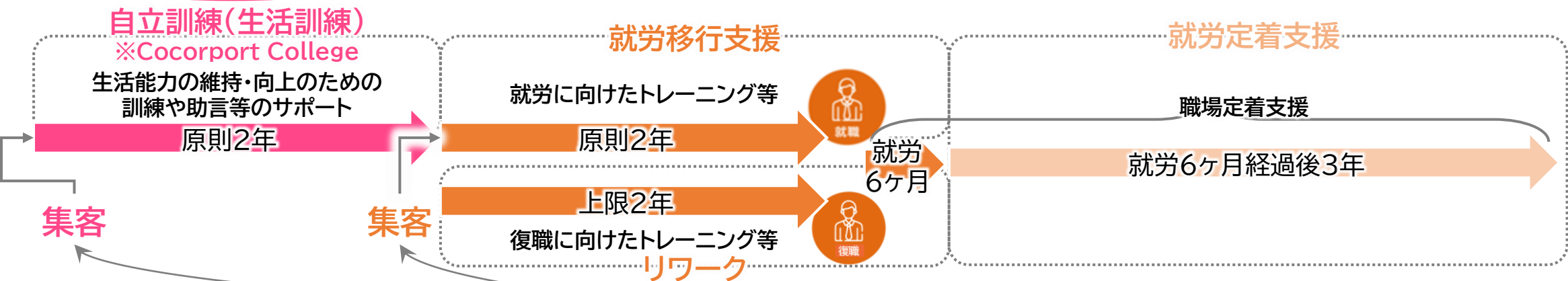
就労移行支援

もともと展開している就労移行支援事業所の近くに出店することにより、既に連携している各種関係機関や支援学校へ効率的にアプローチ

ドミナント展開
及び
一気通貫による
シナジー効果

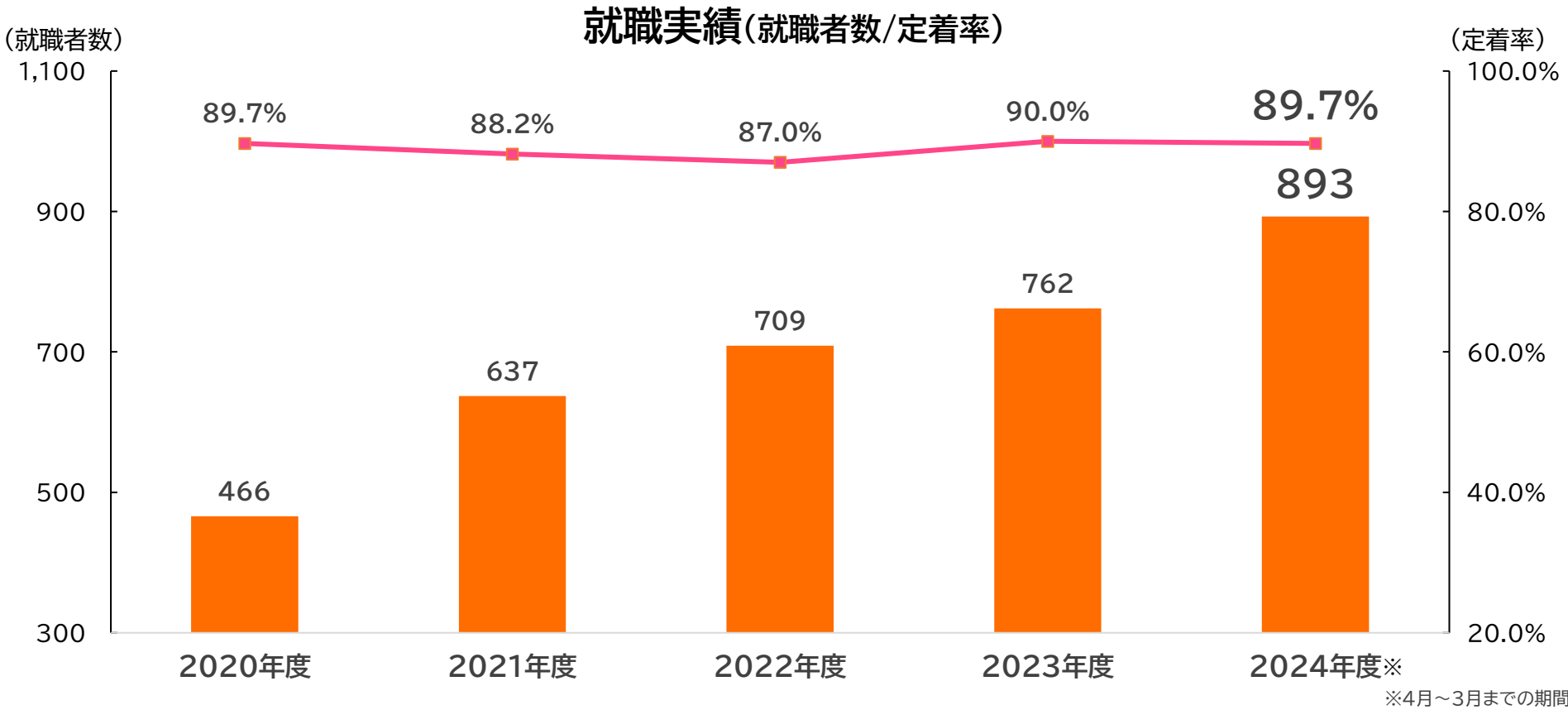
自立訓練(生活訓練)サービスの卒業生が就労移行支援事業所のご利用者様になることで集客が効率化

2020年から開始



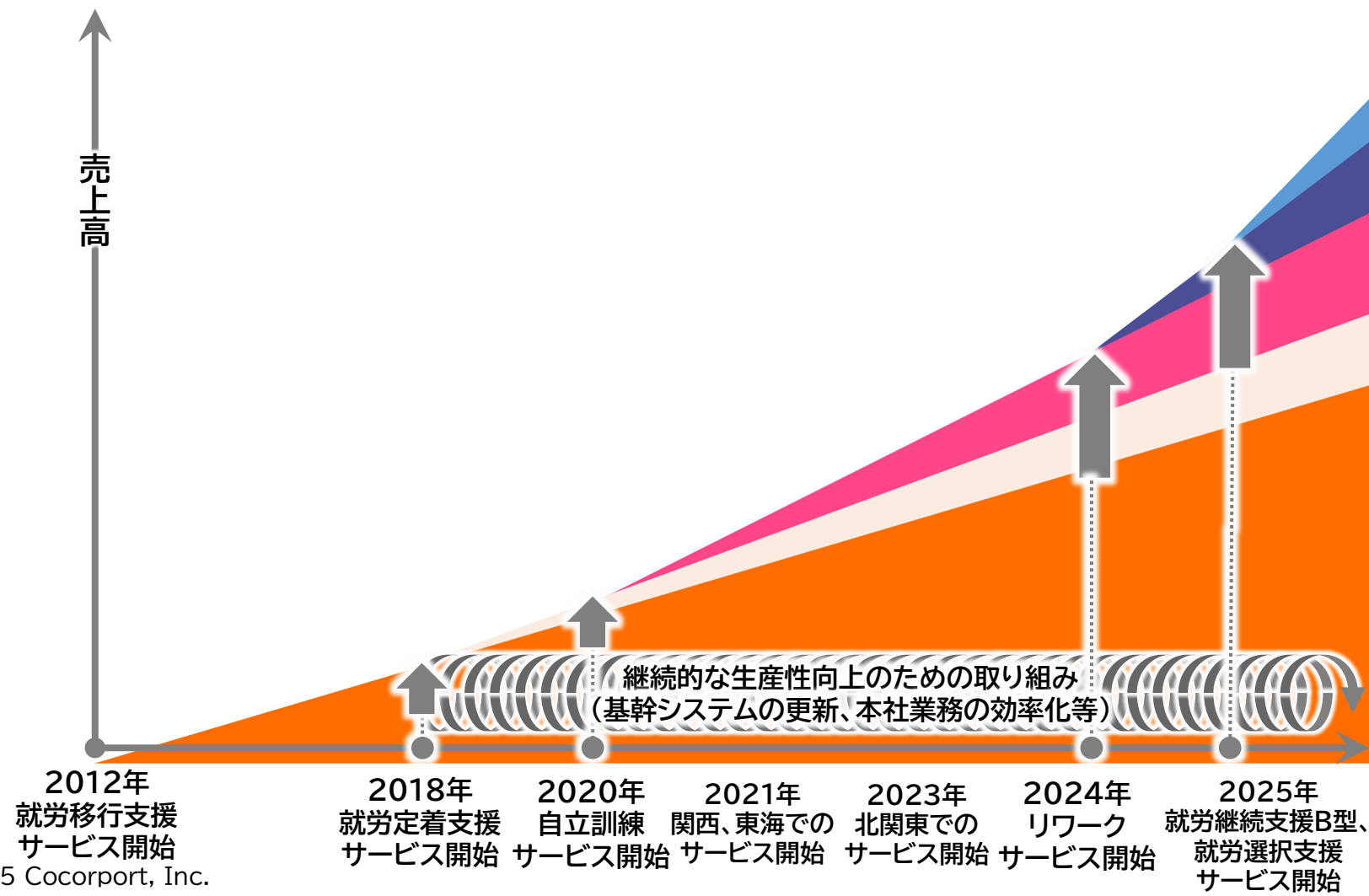
各種サービスを一気通貫提供することで、域内各種支援機関等からの認知度が向上

- ・就職者数は大幅(※)に増加 (2023年度:762名 → 2024年度:893名)
※法定雇用率引き上げ(2.3%→2.5%)の影響あり
- ・定着率は前年度実績と同程度 (2023年度:90.0%→2024年度:89.7%)



今後の成長イメージと成長を牽引する各種施策

- ・市場拡大を追い風に、当面足許の成長スピードを堅持
- ・「質の高い支援」に基づく就労移行支援事業所開設、周辺サービスへの展開



- 1 新たなドミナントも
合わせた、就労移行支援
事業所の拡大
- 2 就職者増加への対応
による、就労定着支援
サービス提供拡大
- 3 自立訓練(生活訓練)
事業所の拡大
- 4 リワーク
事業所の拡大
- 5 周辺サービスの
さらなる展開

2.エグゼクティブ・サマリー

一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、関わる全ての人たちと共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

その企業理念を実現するためには、ステークホルダーと共に長期的に成長する必要があると考えており、2026年6月期についても積極的に「**人的資本への投資**」に加え、「**株主還元**」も行ってまいります。

企業理念

私たちは一人ひとりの可能性を信じ、
自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。

私たちは一人ひとりが様々な可能性を持っていることを知っています。
そして、一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、関わる全ての人たちと共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

26/6期
1Q
実績

出店計画15拠点に対して、3拠点(プレオープン2拠点含む)を出店。※前年同期は1拠点

売上	1,751百万円	前期比	110.6%
経常利益	245百万円	前期比	103.6%

26/6期
予想

15拠点の出店を計画。
人的資本への投資を行いつつ7期連続の増収増益の計画。

売上	7,306百万円	前期比	114.6%
経常利益	823百万円	前期比	103.2%

26/6期
予想

配当性向40%を目安に、2026年6月期末に61円の配当を予定。

配当性向	40%(予想)	年間配当	61円(予想)
------	---------	------	---------

新たに  以下を実施

26/6期
2Q
実施

自己株式の取得及び自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付け並びに自己株式の消却の実施。

※詳細は次ページ参照

■ 取得理由:株主還元を更に充実させるための取組のひとつとして、
資本効率の向上を図るため。

<取得の内容>

(1)取得の方法	本日(2025年11月14日)の終値1,768円で、2025年11月17日午前8時45分の東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)において、買付けの委託を行います。
(2)取得する株式の種類	当社普通株式
(3)取得する株式の総数	40,000株(上限) (自己株式を除く発行済株式総数に対する割合1.08%)
(4)株式の取得価格の総額	70,720,000円(上限)
(5)取得結果の公表	2025年11月17日午前8時45分の取引終了後に取得結果を公表いたします。

<消却の内容>

(1)消却する株式の種類	当社普通株式
(2)消却する株式の総数	・上記「取得の内容」により取得した自己株式の全株式数 ・2025年11月14日現在保有する自己株式数 を合計した総数
(3)消却予定日	2025年12月16日

■ ココルポート初となる就労継続支援B型(※)併設の多機能型事業所(※) 「Cocorport College & Work 千葉」を2025年10月1日に開設。

※就労継続支援B型:雇用契約に基づく就労が困難な障がいや難病等のある方が、生産活動などの機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うことができる障害福祉サービス。

※多機能型事業所 : 2種類以上の障害福祉サービスを一体的に行う事業所。

多機能型事業所「Cocorport College & Work 千葉」

2025.10.1
OPEN !



多機能型事業所「Cocorport College & Work 千葉」は、自立訓練(生活訓練)事業所「Cocorport College」に
ココルポート初となる就労継続支援B型を併設した多機能型事業所となります。

Cocorport College & Work 千葉

所在地 : 千葉県千葉市中央区中央3-18-3 加瀬ビル158 3階 302号室
アクセス : 京成千葉線千葉中央駅より徒歩3分
定員 : 自立訓練(生活訓練)10名 / 就労継続支援B型 10名

■ 神奈川県産業労働局から神奈川県における「障害者職場定着支援事業」を受託。

神奈川県における「障害者職場定着支援事業」を受託

■ 目的

障がい者雇用のノウハウが少なく、障がい当事者とのコミュニケーション等に悩みを持っている神奈川県内企業を対象に、相談窓口を設け、必要に応じてアドバイザー派遣等を行い、職場定着支援を行うことで、雇用に関する課題解決の促進を図ることを目的とします。

神奈川県内における「障害者職場定着支援事業」業務の委託を受け、障がい者の安定した職場定着を強力に推進し、神奈川県内企業の障がい者雇用に関する課題解決を促進して参ります。

※2025年10月3日プレスリリース

3. 決算概要

(2026年6月期 第1四半期)

1

拠点数

今期出店計画15拠点に対して、3拠点(プレオープン2拠点含む)を出店。※前年同期は1拠点

2

前年同期比

新規出店と報酬単価上昇の影響により、売上の前年同期比(増減率)は+10.6%。

経常利益の前年同期比(増減率)は+3.6%。

3

業績予想比

売上は、業績予想を下回るものの、神奈川県における「障害者職場定着支援事業」を受託。※下期計上予定
経常利益進捗は、予想に対して順調に推移。

4

その他

就労継続支援B型併設の多機能型事業所を開設。

【前年同期比】決算概要(2026年6月期 第1四半期)



- 新規出店と報酬単価上昇の影響により、売上の前年同期比(増減率)は+10.6%。
- 経常利益の前年同期比(増減率)は+3.6%。
※前年同期比、出店数が2事業所増加したことによる出店費用増加の影響あり

(単位:百万円)	2026年月期 第1四半期			2025年6月期 第1四半期	
	金額	売上比	前年同期比 増減率	金額	売上比
売上高(※)	1,751	-	+10.6%	1,583	-
売上原価	1,231	(70.3%)	+12.9%	1,091	(68.9%)
売上総利益	519	(29.7%)	+5.5%	492	(31.1%)
販売費及び一般管理費	282	(16.1%)	+10.3%	256	(16.2%)
経常利益	245	(14.0%)	+3.6%	237	(15.0%)
当期純利益	168	(9.6%)	+4.0%	161	(10.2%)

※当社の売上高セグメントは、「指定障害福祉サービス事業」の単一セグメントとなります

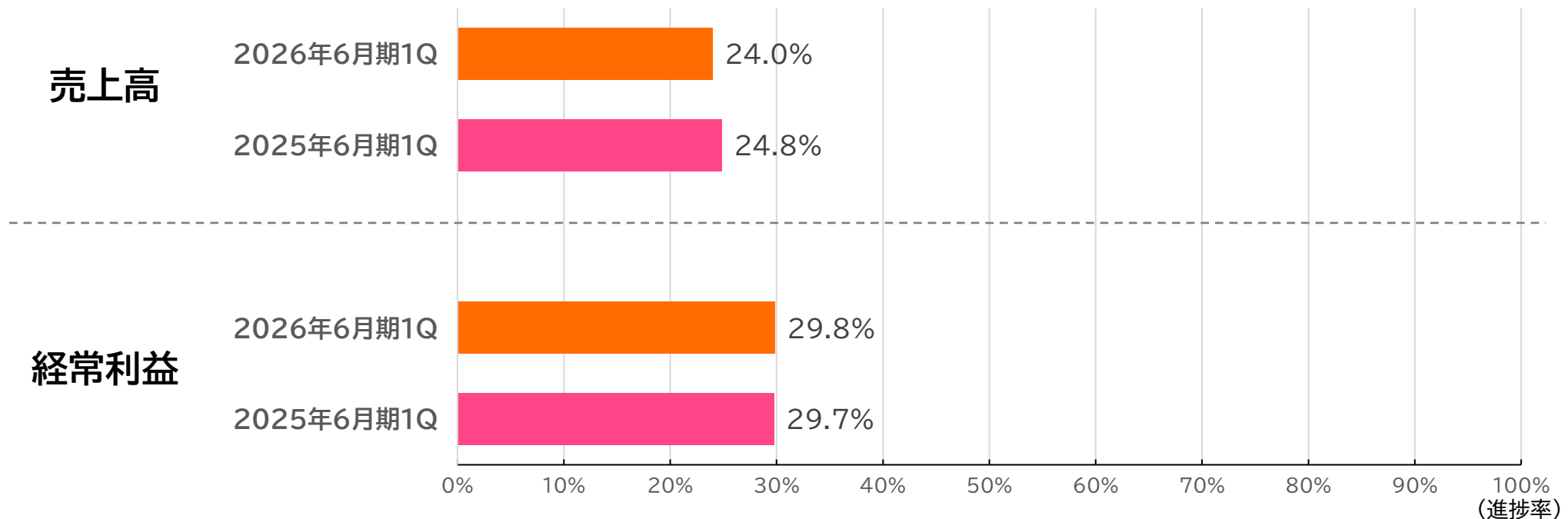
業績予想に対する進捗率は、

- 売上進捗は、業績予想を下回る(※1)ものの、神奈川県における「障害者職場定着支援事業」を受託(※2)。

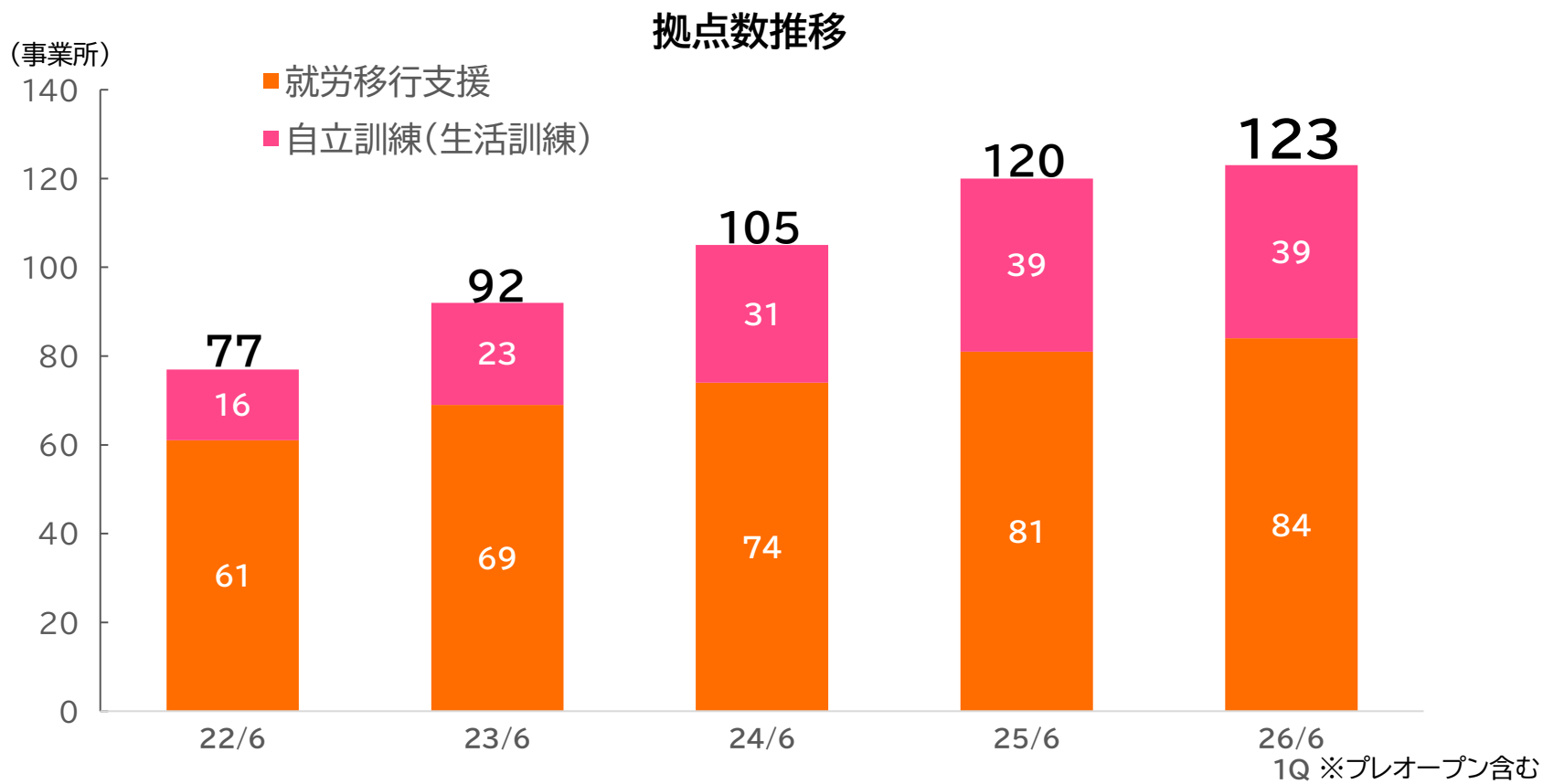
※1 天候不順(猛暑)等によるマイナス影響(欠席率の増加)あり ※2 下期計上予定

- 経常利益進捗は、予想に対して順調に推移。

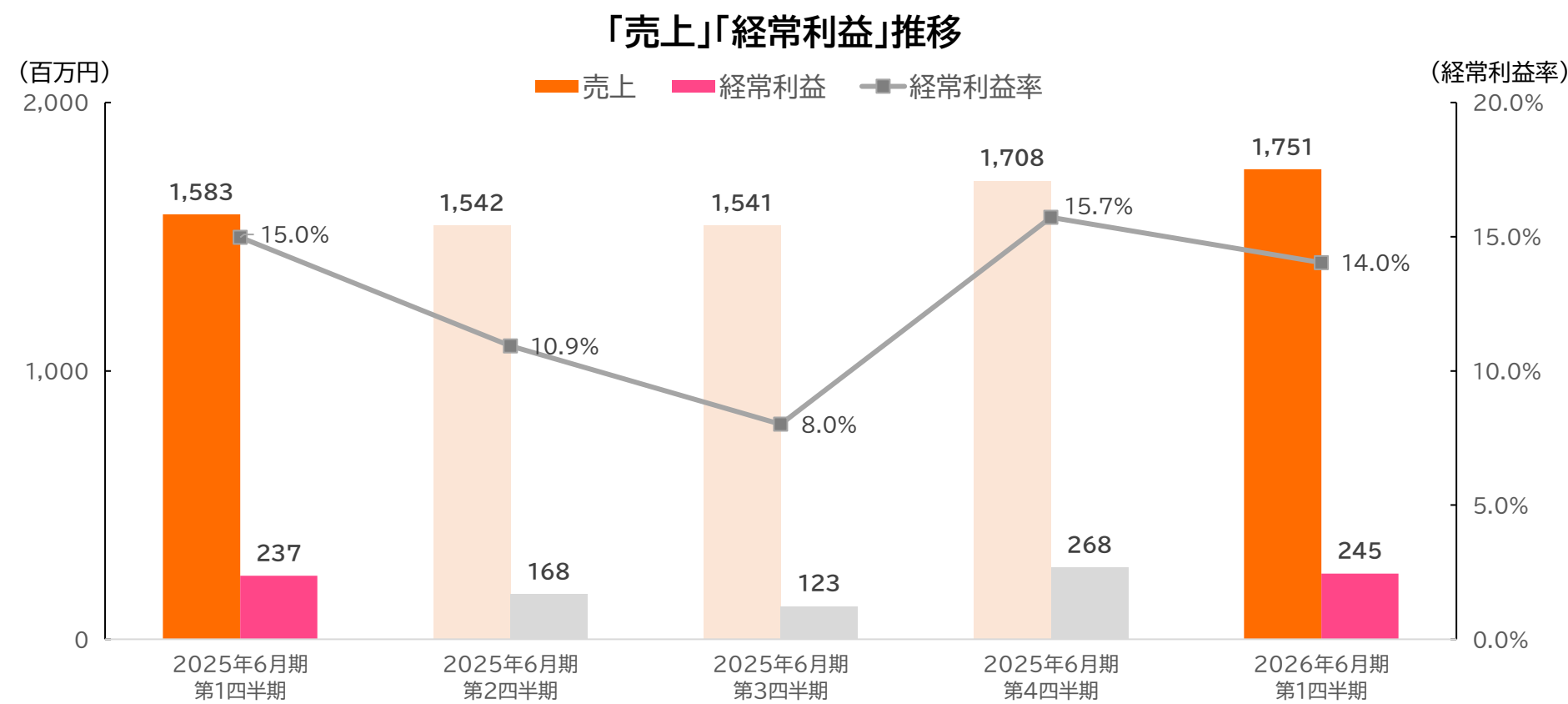
業績予想進捗率 / 前年実績進捗率の比較



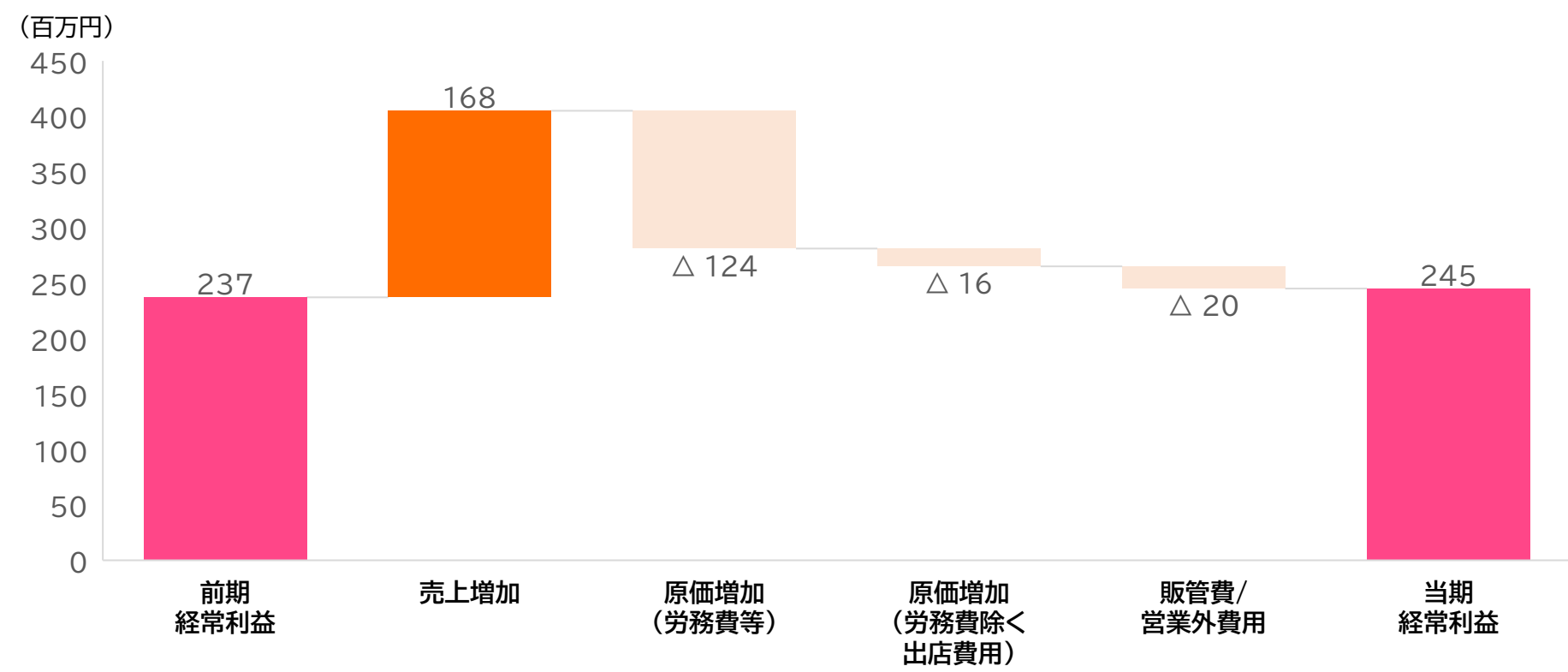
■ 拠点数は123拠点(就労移行支援:84 自立訓練(生活訓練):39)。
→ 3拠点(プレオープン2拠点含む)を出店。※前年同期は1拠点



■ 売上、経常利益ともに順調に増加(前年同期比)。



- 事業所数の増加や定着実績に伴う報酬単価上昇の影響により売上は増加。
- 事業所開設に伴って労務費、出店費用増加。加えて、人的資本への投資も行いつつ前期を上回る経常利益を確保。



■ ココルポート初となる就労継続支援B型(※)併設の多機能型事業所(※) 「Cocorport College & Work 千葉」を2025年10月1日に開設。

※就労継続支援B型:雇用契約に基づく就労が困難な障がいや難病等のある方が、生産活動などの機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うことができる障害福祉サービス。

※多機能型事業所 : 2種類以上の障害福祉サービスを一体的に行う事業所。

多機能型事業所「Cocorport College & Work 千葉」



2025.10.1
OPEN!

多機能型事業所「Cocorport College & Work 千葉」は、自立訓練(生活訓練)事業所「Cocorport College」に
ココルポート初となる就労継続支援B型を併設した多機能型事業所となります。

Cocorport College & Work 千葉

所在地 : 千葉県千葉市中央区中央3-18-3 加瀬ビル158 3階 302号室
アクセス : 京成千葉線千葉中央駅より徒歩3分
定員 : 自立訓練(生活訓練)10名 / 就労継続支援B型 10名

- 「就労移行支援/自立訓練(生活訓練)利用者数」は以下のようになっております。

就労移行支援/自立訓練(生活訓練)
利用者数※

2,641名
(前年比:109%)

※2025年9月末時点

- 神奈川県産業労働局から神奈川県における「障害者職場定着支援事業」を受託。

神奈川県における「障害者職場定着支援事業」を受託

■目的

障がい者雇用のノウハウが少なく、障がい当事者とのコミュニケーション等に悩みを持っている神奈川県内企業を対象に、相談窓口を設け、必要に応じてアドバイザー派遣等を行い、職場定着支援を行うことで、雇用に関する課題解決の促進を図ることを目的とします。

神奈川県内における「障害者職場定着支援事業」業務の委託を受け、障がい者の安定した職場定着を強力に推進し、神奈川県内企業の障がい者雇用に関する課題解決を促進して参ります。

※2025年10月3日プレスリリース

4. 業績予想 (2026年6月期)

1

出店

新規出店は15拠点(就労移行支援8拠点、自立訓練(生活訓練)7拠点)。
リワークが順調に推移していることから、リワーク事業所(自立訓練(生活訓練))を4拠点出店。

2

業績

7期連続の増収増益の見通し。

3

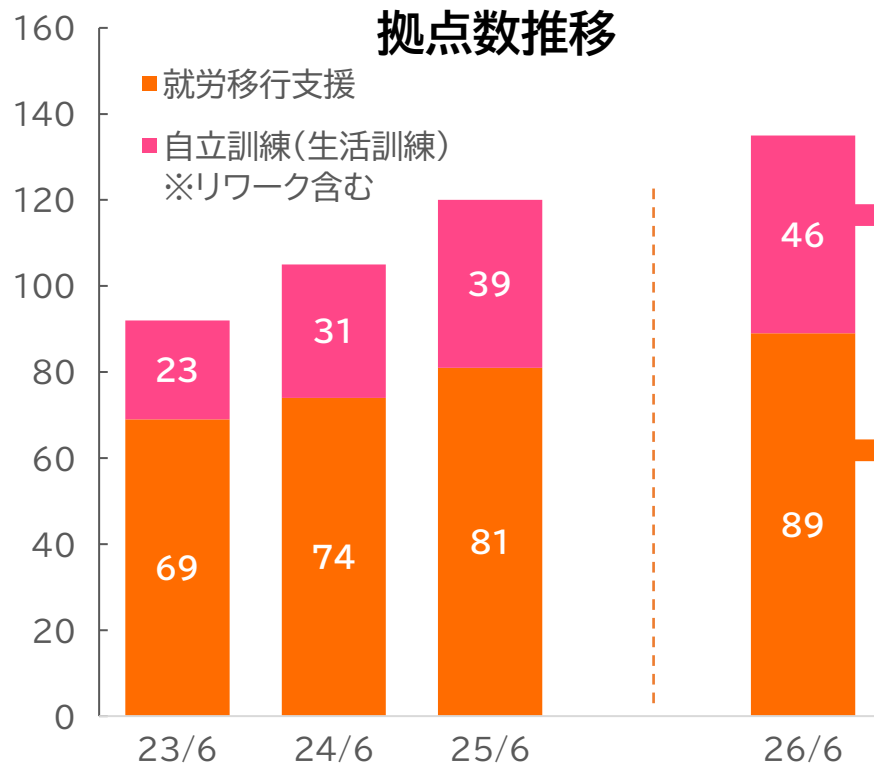
株主還元

安定した収益成長力と財務安定性を考慮し、配当性向を40%(目安)に上げます。

- 売上高は 7,306百万円、経常利益は 823百万円、当期純利益は 575百万円と予想。
- 新規出店は15拠点(就労移行支援8拠点、自立訓練(生活訓練)7拠点)。
- 人的資本及びシステム投資を強化するため、利益の伸び率は鈍化。

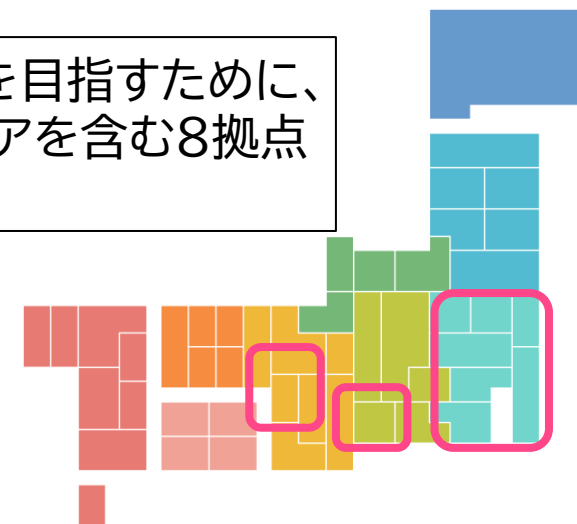
(単位:百万円)	2026年6月期			2025年6月期	
	金額	売上比	前年同期比 増減率	金額	売上比
売上高	7,306	-	+14.6%	6,376	-
売上原価	5,288	(72.4%)	+15.7%	4,570	(71.7%)
売上総利益	2,017	(27.6%)	+11.7%	1,806	(28.3%)
販売費及び一般管理費	1,197	(16.4%)	+15.7%	1,034	(16.2%)
経常利益	823	(11.3%)	+3.2%	797	(12.5%)
当期純利益	575	(7.9%)	+2.4%	561	(8.8%)

- 拠点数は135拠点へ(就労移行支援:89 自立訓練(生活訓練):46)
- 就労移行支援は8拠点を開設
- 自立訓練(生活訓練)は7拠点を開設

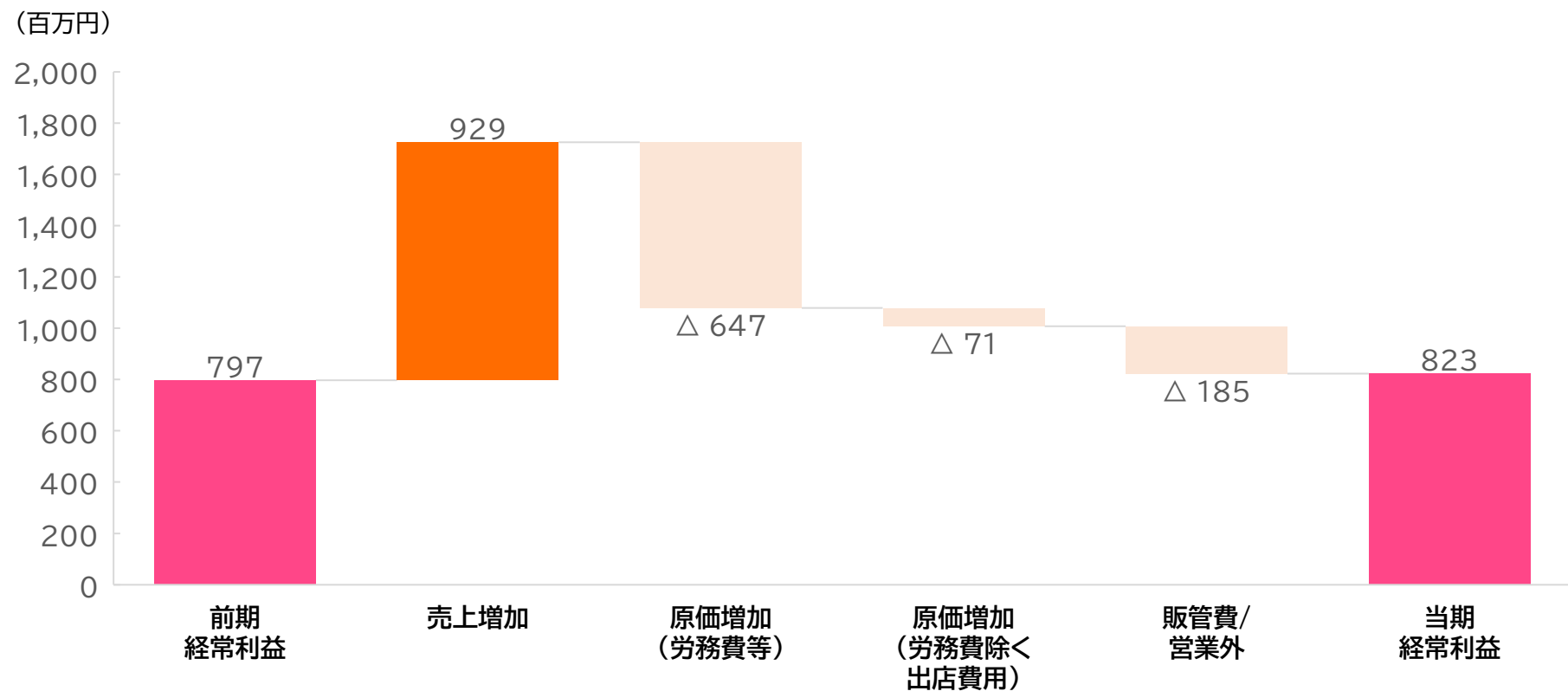


就労移行支援事業所が出店するエリアに7拠点を開設。就労移行支援事業所とのシナジー効果を生み出していく

さらなる成長を目指すために、関西・東海エリアを含む8拠点を開設



- 事業所数の増加や定着実績に伴う報酬単価上昇、加えて3年に1度の報酬改定に伴う報酬単価上昇の影響により売上は増加。
- 事業所開設に伴って労務費、出店費用増加。加えて、人的資本への投資も行いつつ前期を上回る経常利益を確保。



5. 株主還元

- 当社の経営環境及び今後の経営計画を踏まえ、引き続きの健全な財務体質の維持及び将来の事業拡大に備えるための内部留保を確保しつつも、株主の皆様への利益還元が可能と判断し、配当方針を以下内容に変更。

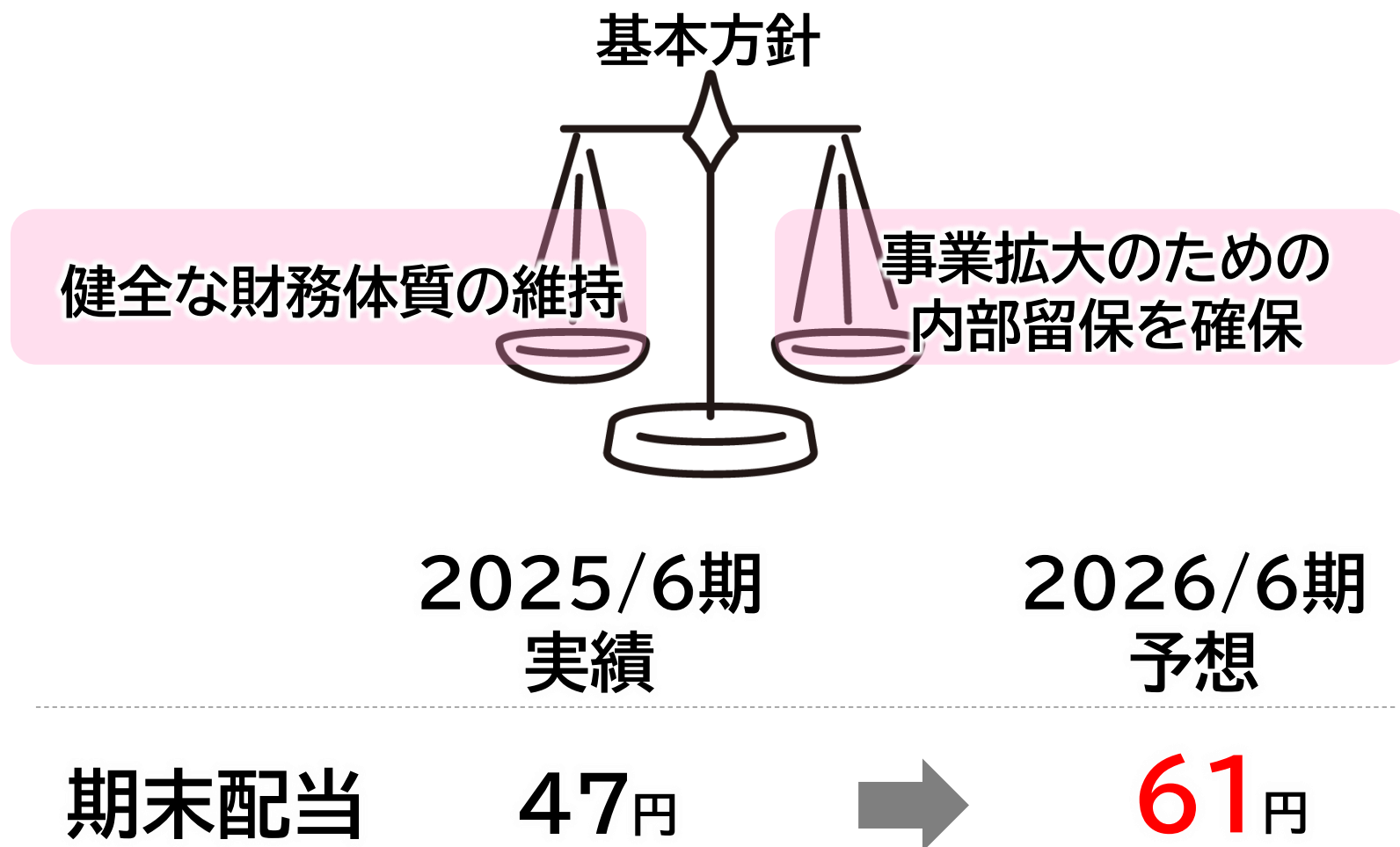
【株主還元の基本方針】

当社は、企業価値を継続的に拡大し、株主に対する利益還元を行うことを重要な経営課題として認識しております。

今後の配当政策につきましては、引き続きの健全な財務体質の維持及び事業拡大のための内部留保を確保しつつ、**配当性向40%**を目安に、事業の成長に沿った継続的かつ安定的な配当を実施する方針であります。

2026年6月期の配当予想について

- 安定した収益成長力と財務安定性を考慮しつつ、**株主還元強化**を意図し、2026年6月期は、**配当性向を40%**(目安)に上げます。



■ 取得理由:株主還元を更に充実させるための取組のひとつとして、
資本効率の向上を図るため。

＜取得の内容＞

(1)取得の方法	本日(2025年11月14日)の終値1,768円で、2025年11月17日午前8時45分の東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)において、買付けの委託を行います。
(2)取得する株式の種類	当社普通株式
(3)取得する株式の総数	40,000株(上限) (自己株式を除く発行済株式総数に対する割合1.08%)
(4)株式の取得価格の総額	70,720,000円(上限)
(5)取得結果の公表	2025年11月17日午前8時45分の取引終了後に取得結果を公表いたします。

＜消却の内容＞

(1)消却する株式の種類	当社普通株式
(2)消却する株式の総数	・上記「取得の内容」により取得した自己株式の全株式数 ・2025年11月14日現在保有する自己株式数 を合計した総数
(3)消却予定日	2025年12月16日

6. 【参考】マーケットと 会社概要

**私たちは一人ひとりの可能性を信じ、
自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。**

私たちは一人ひとりが様々な可能性を持っていることを知っています。
そして、一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、関わる全ての人たちと
共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

Cocorport 11

コボルポートイレブン

1 安心される存在となる

2 一人ひとりに寄り添う

3 小さな変化を捉える

4 気づきの機会を提供する

5 自己決定を尊重する

6 どんなときも信じ続ける

7 創意工夫を重ねる

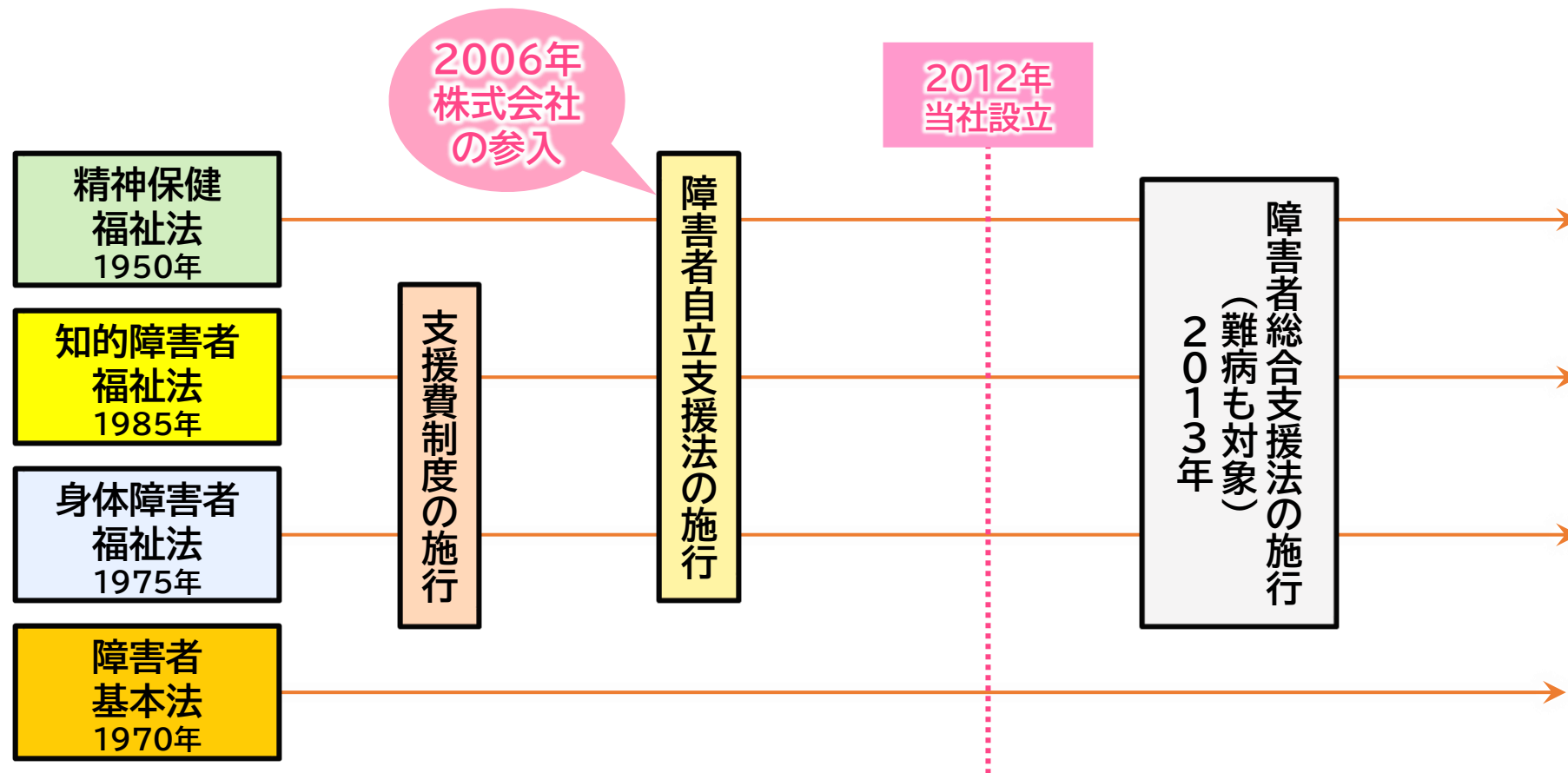
8 チャレンジを讃える

9 ひとりの壁をチームで超える

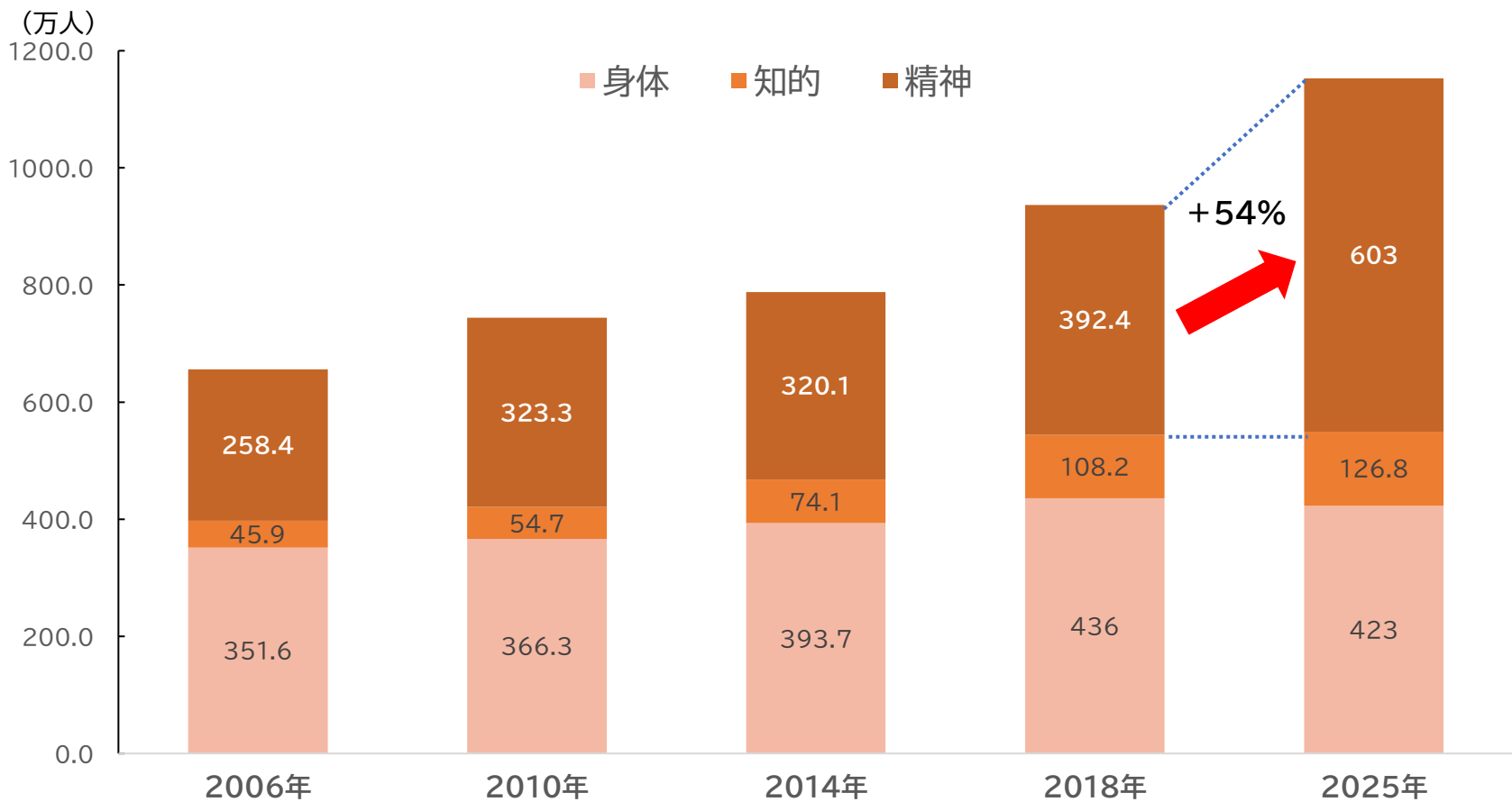
10 自らを磨く

11 正しいことをする

- 2006年より「障害者自立支援法」が導入され、営利法人の参入が可能に。
- 当社は2012年より市場参入。

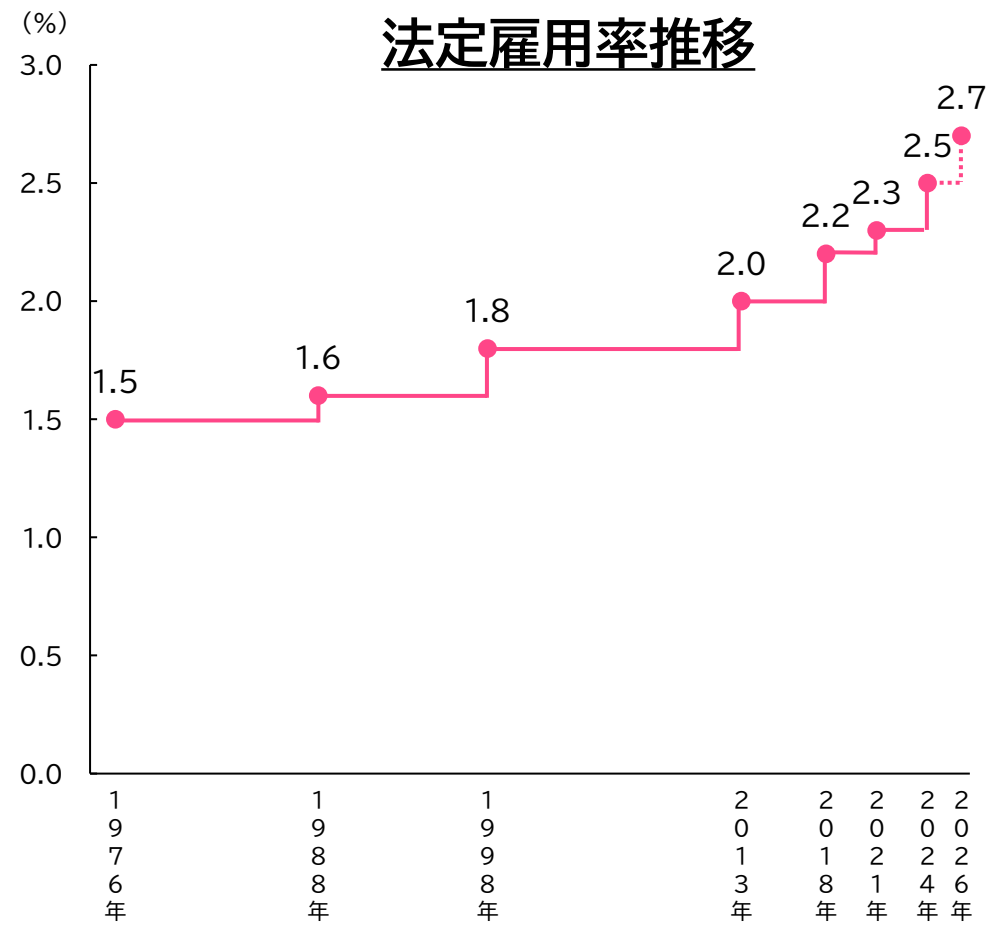


■ 障がい者数は、約1,152万人。
※うち18歳以上65歳未満の在宅者は約455万人。
→精神障がい者数が7年間で54%増。

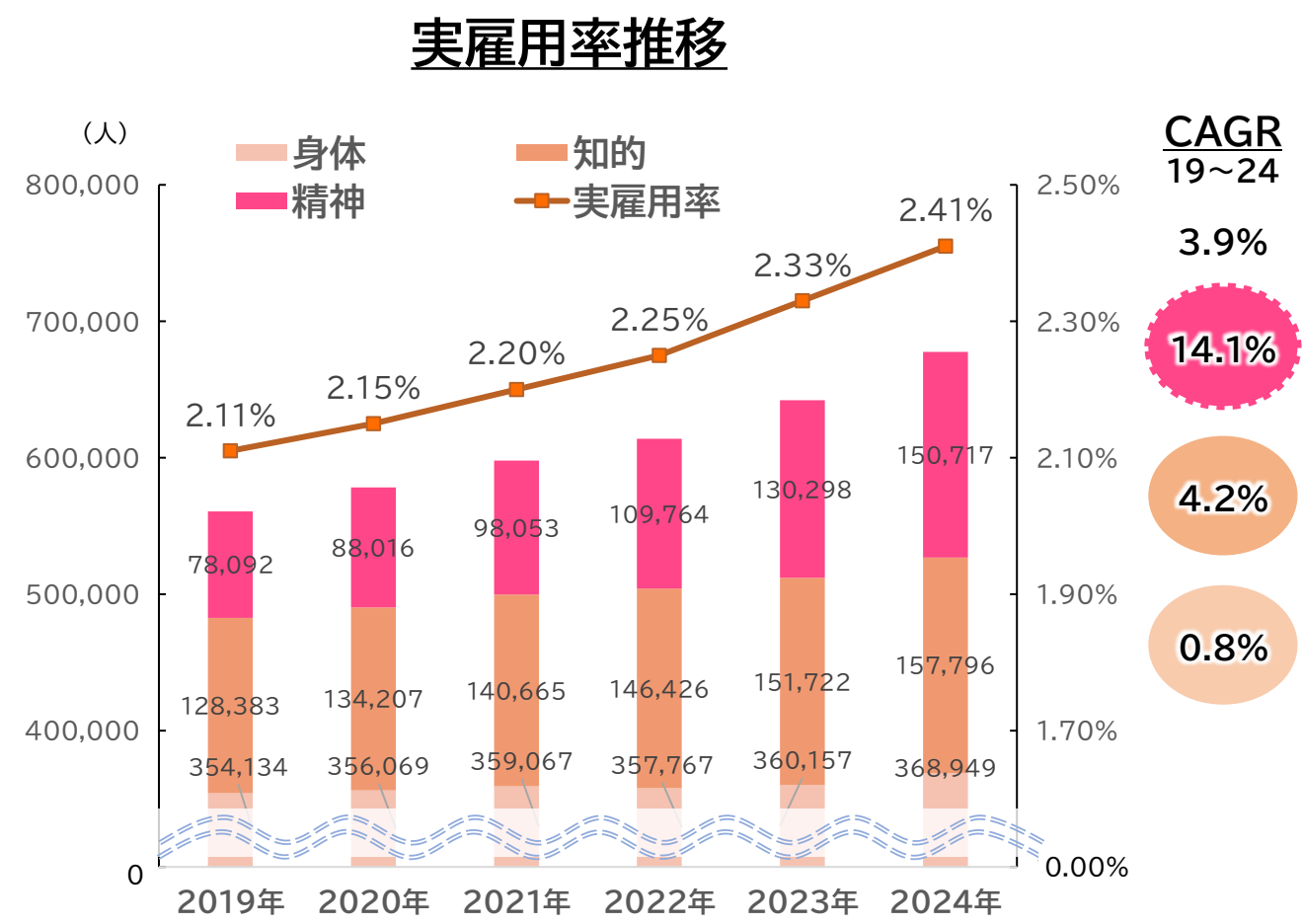


出典:厚生労働省「障害者数の推移」と内閣府「2025年版 障害者白書」より当社作成

- 2024年改定の法定雇用率は過去最大の引き上げ(2024年:2.5% 2026年:2.7%)。
- 今後も求人ニーズは上昇することが予測される⇒就労移行支援ニーズは高止まり。

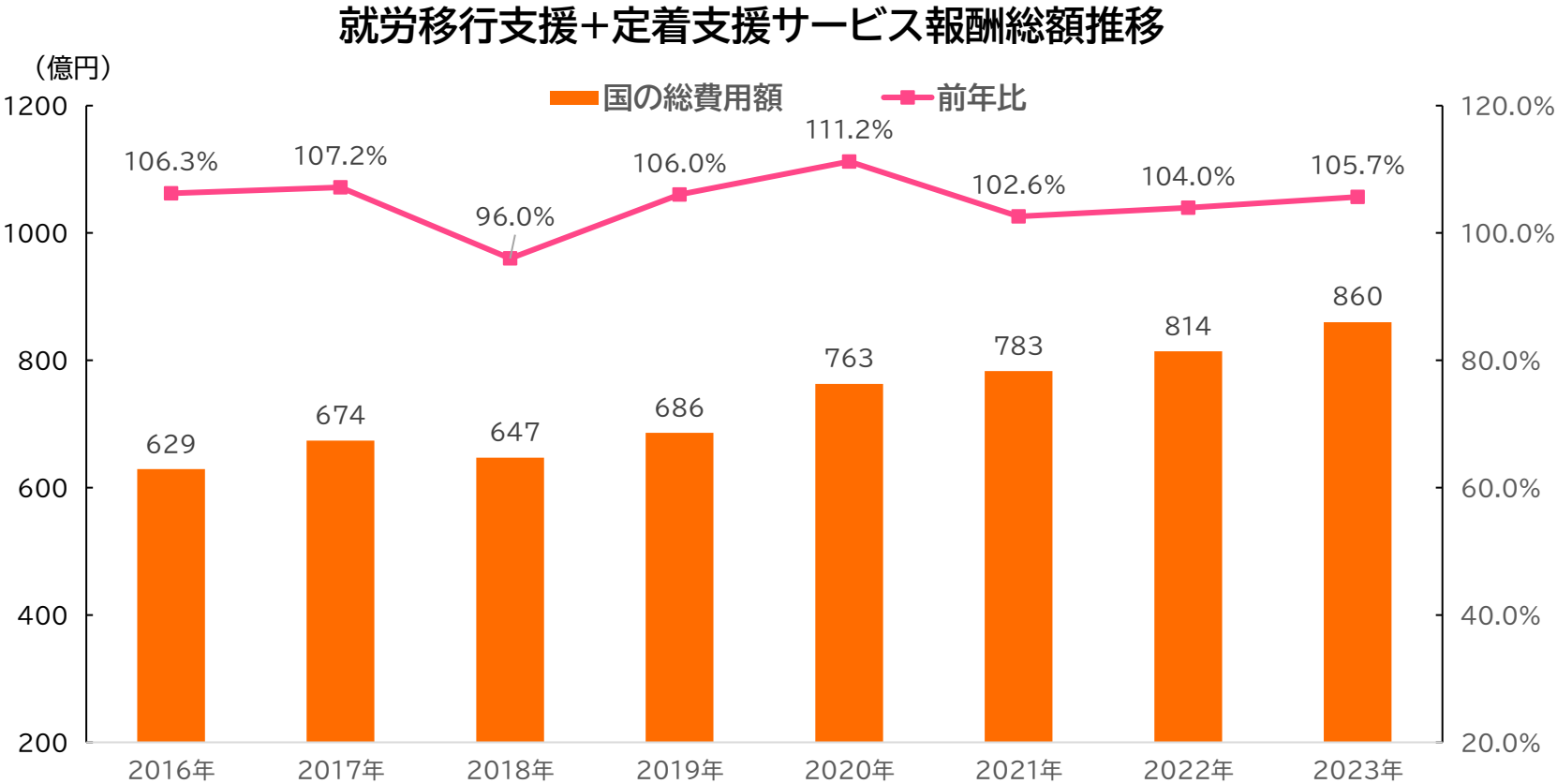


出典:厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」
「令和5年度からの障害者雇用率の設定等について」より当社作成



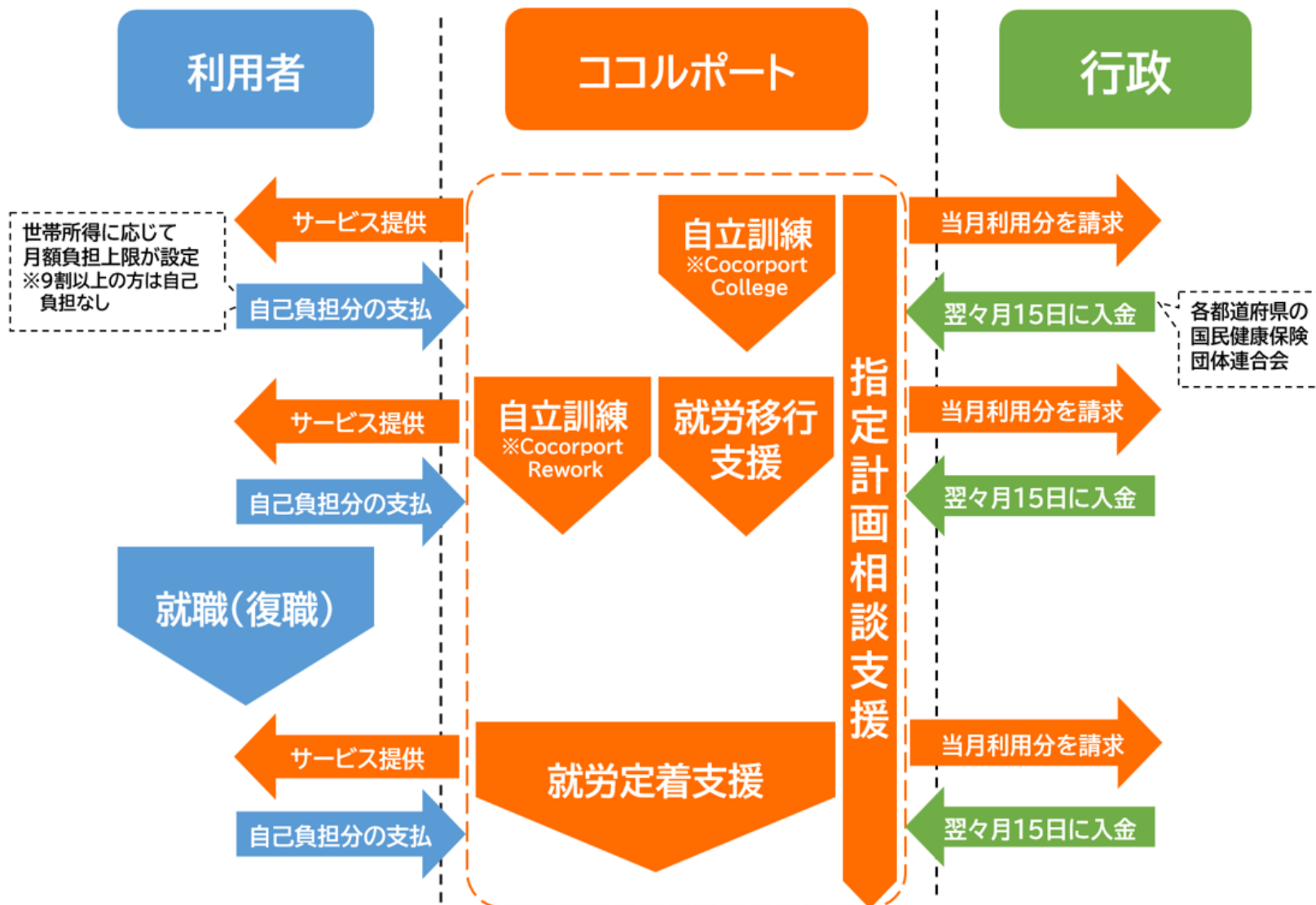
出典:厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」より当社作成

■ 就労移行支援＋定着支援サービス報酬総額は、2018年度に一時的に減少したが、その後報酬総額は増加に転じる。



出典：厚生労働省「障害福祉分野の最近の動向」
「障害福祉分野の最近の動向について」より当社作成

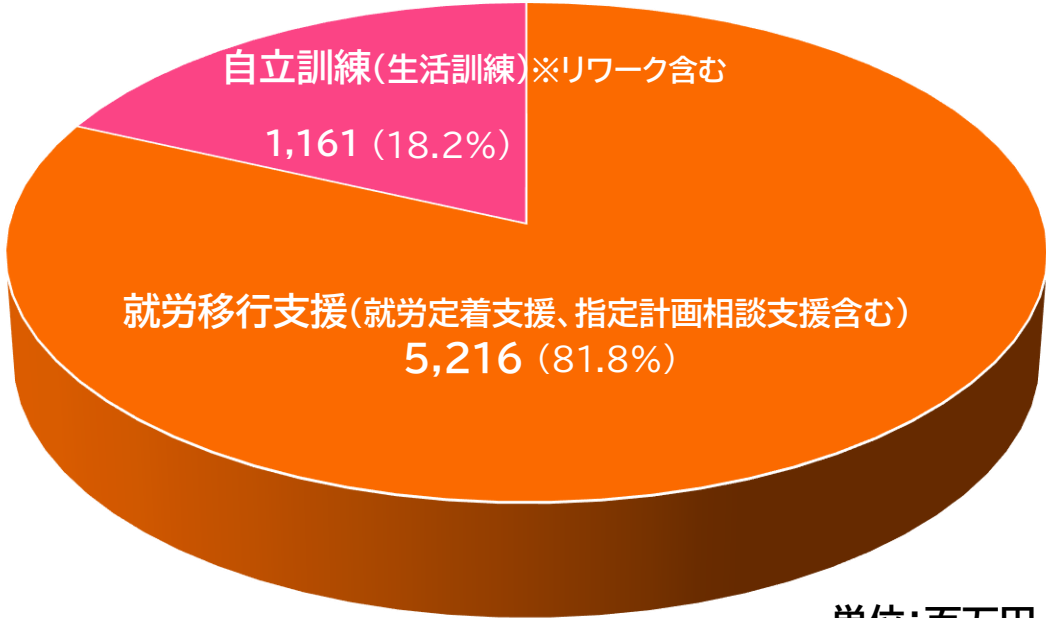
ご利用者様に対する障害福祉サービスの提供により、行政(一部ご利用者様)から報酬を受領。



障害者総合支援法に定められた、以下の指定障害福祉サービスを提供。

サービス名	サービス内容
■ 就労移行支援	障がいのある方が就労に向けたトレーニングを行い、働くために必要な知識やスキルを習得し、就職後も職場に定着できるサポートを行うサービスであります。
■ 就労定着支援	一般就労をしている障がいのある方が長く職場に定着できるよう、障がいのある方との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を行うサービスであります。
■ 指定計画相談支援	障がいのある方が自分らしく生活していくために福祉サービス利用についての相談と目標に合わせた計画を作成するサービスであります。
■ 自立訓練（生活訓練）	障がいのある方が自立した日常生活や社会生活がおくれるよう、生活能力の維持・向上のための訓練や助言などのサポートを行うサービスであります。
■ リワーク ※自立訓練（生活訓練）	精神的な不調により休職した方の職場復帰をサポートするため（復職支援）のプログラムを行うサービスであります。

2025年6月期サービス別売上



■ 2025年10月1日から、就労継続支援B型(※)併設の多機能型事業所開設。
※就労継続支援B型：雇用契約に基づく就労が困難な障がいや難病等のある方が、生産活動などの機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うことができるサービス。
※多機能型事業所：2種類以上の障害福祉サービスを一体的に行う事業所。

事業コンセプト

『個別』、『支援』、『幅広い受け入れ』にこだわる

人は一人ひとり違います。だからご利用者様お一人おひとりに適した支援を提供する。

ゴールは就職ではなく、自立。だから指導ではなく支援を大切にする。

手を差し伸べてほしいと思う方々に手を差し伸べる。だから少ない通所数からでも受け入れる。

私たちココルポートが大切にしている福祉に対する考え方です。

• 集団ではなく『個別』

人は一人ひとり違います。性別、年齢、障がい種別、状態、個性。

お一人おひとりに合った多種多様なプログラムを用意(就労移行支援:600種類以上 自立訓練:450種類以上)。

⇒ご利用者様の安心感。

• 指導ではなく『支援』

ご利用者様が将来自立して生活していけるように自己決定を尊重。ゴールは就職ではなく自立。

⇒各種支援機関からの紹介の多さ。

• 幅広い受け入れ(週2日程度の通所からでも受け入れ)

週4日以上に通所から受け入れる就労移行支援事業所が多い中、ご本人の意志と行政からの受給者証があれば区別なく受け入れております。

少ない通所数からでも就職に導くノウハウが蓄積されており、高い就職率を誇っております。

⇒ご利用者様のターゲットを拡大(安定した業績形成)。

- ・ 青年期の障がい者が、自立に向け様々な知識や経験を積むための“学びの場”。
- ・ 「自立訓練(生活訓練)」という既存のサービスに「社会教育」という価値を追加。

対象として就労移行支援に
通所する前段階の方々を想定



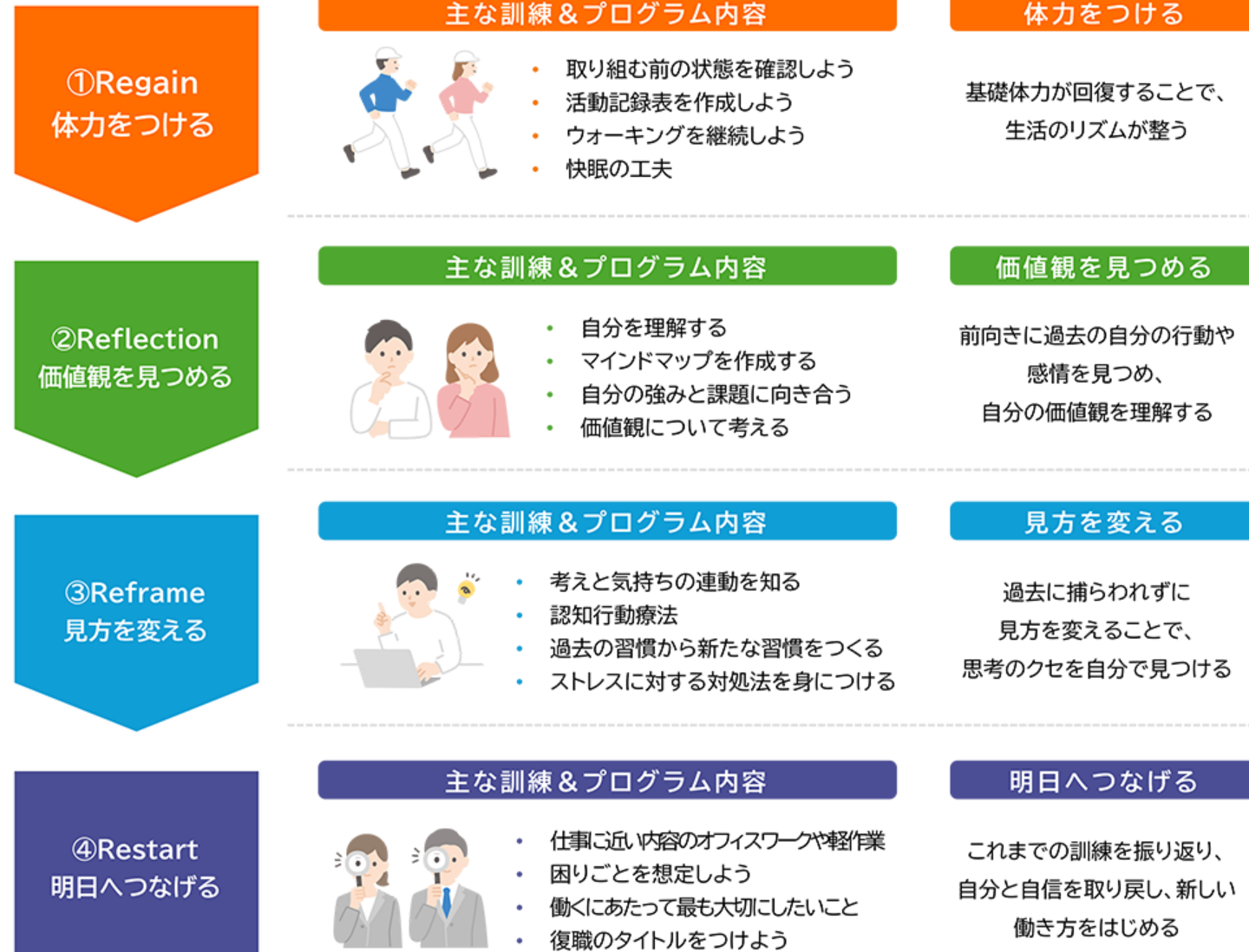
社会課題(社会的引きこもり)を解決

- 青年期の社会的引きこもり状態にある方で、障がいのある方は数多く存在
- 一般就労、就労移行支援、就労継続A/Bなどの社会福祉資源に繋げ、社会的自立をサポート
- 社会性を身に付けていただくことにフォーカス

ご本人・ご家族が安心した
社会生活を送れることを実現

- 障がいによる課題に直面している当事者の方、将来に不安を感じているご家族の方々の希望になるサービスを企画
- 豊富なプログラムと多様な進路
様々な方々を支援できるように、450種類以上のプログラムを用意

- ・ 復職までのプロセスを4つのステップに分け、600種類以上のプログラムからリワークに適したプログラムを厳選して用意。



報酬改定

基本報酬や加算等の見直しは、3年ごとに大きな改定が実施されます。
※次回の改定は2027年4月を予定

利用期間

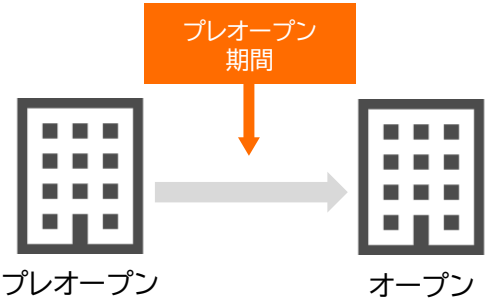
就労移行支援、自立訓練(生活訓練)を受けられる期間は原則2年間(就労定着支援は最長3年間)。

基本報酬

1人のご利用者様に1日サービス提供をすると得られる報酬。

プレオープン期間

ご利用者様がオープン前に実習をしていただく期間となります。また新規出店に関わる費用の多くは、プレオープン時に計上されます。(売上は計上されません)



売上

就労移行支援と自立訓練(生活訓練)については、ご利用者様にサービス提供を行った場合(1日単位)、基本報酬(他に加算等あり)に地域係数(約10~11円)をかけた金額が計上されます。

報酬単価(事業所ごとの基本報酬)

就労移行支援の基本報酬は、毎年3月31日をもって事業所ごとに過去2年間の「6か月定着実績人数」に応じて右表の通り7ランクに振り分けられ、翌4月1日から1年間固定されます。一方で、自立訓練(生活訓練)の基本報酬は固定となっております。

	6か月定着数	基本報酬(単位)
就労移行支援	20名以上	1210
	16~19名	1020
	12~15名	879
	8~11名	719
	4~7名	569
	1~3名	519
	0名	479

※20名定員の場合



	基本報酬(単位)
自立訓練(生活訓練)	776

定着率

事業所を利用して就職に結びついた方が、6か月以上仕事を続けられているかの割合(職場に定着できたか)を指します。
※離職率等は1年を単位にしているケースが多いですが、6か月となります。

加算

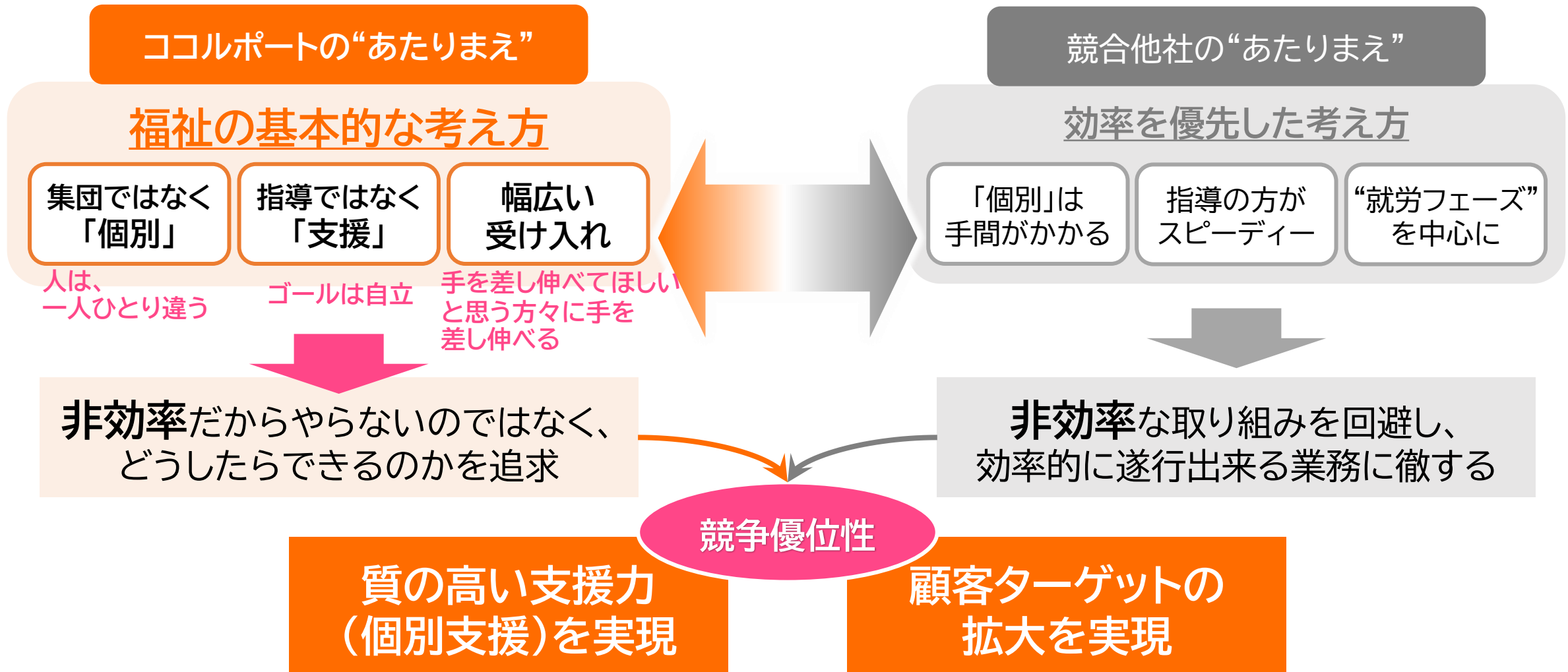
要件を満たす(例えば福祉専門職員を配置するなど)場合に基本報酬に加えて算定される乗せ分の報酬です。基本報酬と比較するとそれぞれの加算自体は大きくはないものがほとんどですが、例えば自立訓練(生活訓練)における就職定着者数1名につき54単位(就労移行支援体制加算)など内容によって大きい単位のものもあります。



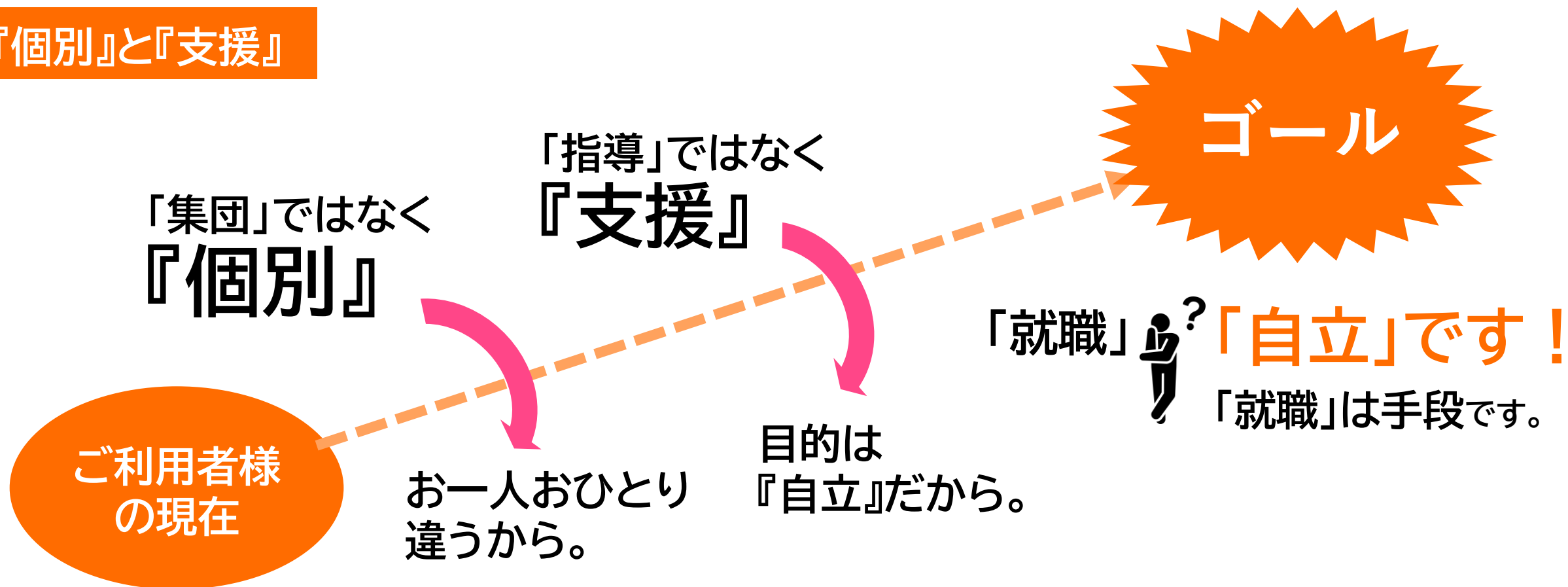
7. 【参考】競争優位性

① 競争力の源泉は“福祉のあたりまえ”を徹底出来る実行力

- ・ (効率を優先することなく) 愚直に「福祉の基本的な考え方」に基づき業務を遂行。
- ・ 競合他社対比「質の高い支援力」、「顧客ターゲットの拡大」を実現。



『個別』と『支援』



人は一人ひとり違います。そのため、「一括り(集団)」に「教える(指導)」のではなく、自立した人生を送ることができるように、お一人おひとりに合わせて(個別)、助け、支え(支援)ることに拘っております。

『個別』と『支援』に拘り醸成される質の高い支援力

- ・『個別』と『支援』に拘り、ご利用者様それぞれに最適な支援を提供。
- ・各事業所毎の運営により、現場力を能動的に向上し「質の高い支援」を実現。

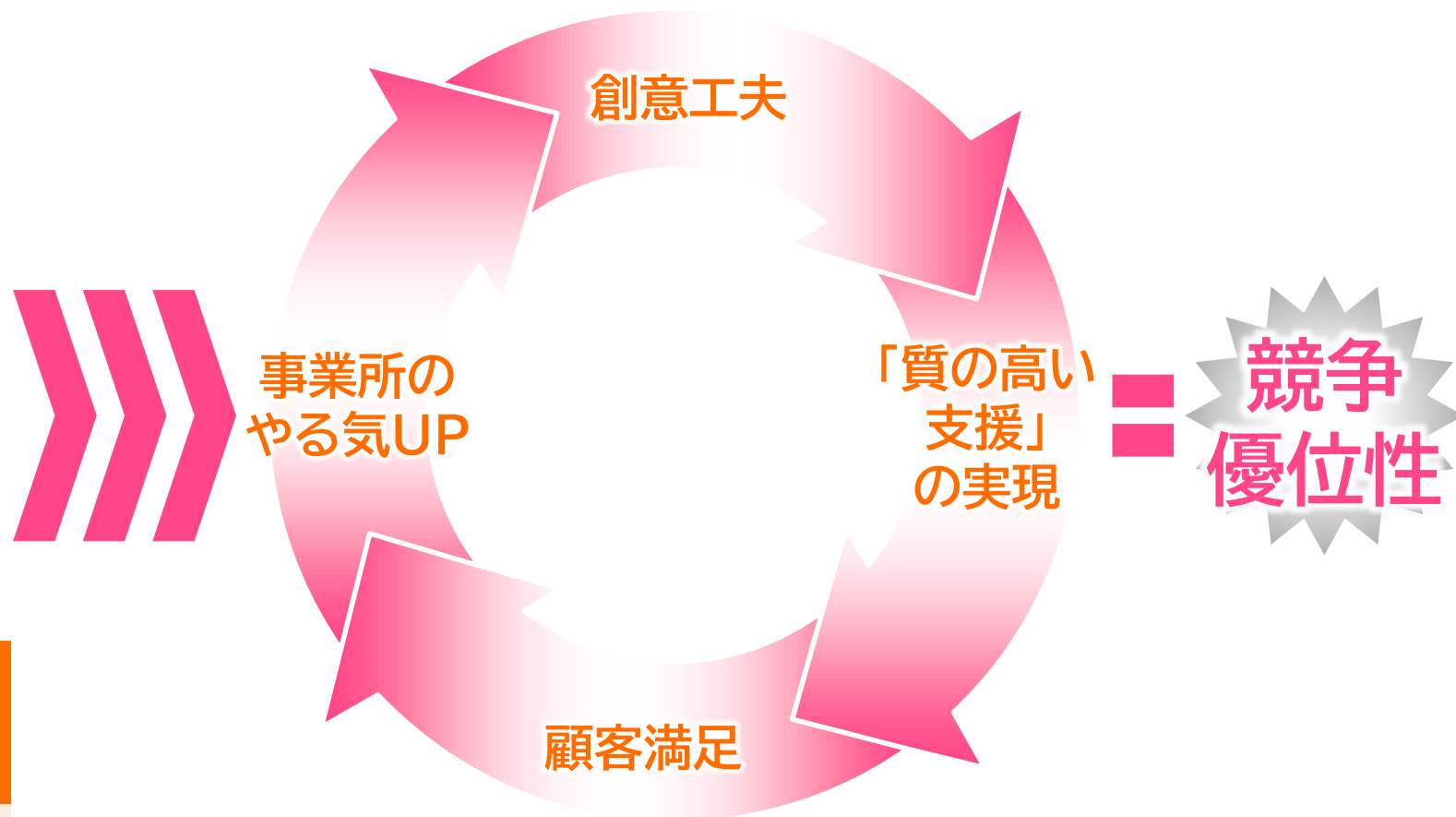
「個別」と「支援」に
こだわる

ご利用者様毎に
状況は異なる

各事業所ごと最適な運営
(現場への権限移譲)

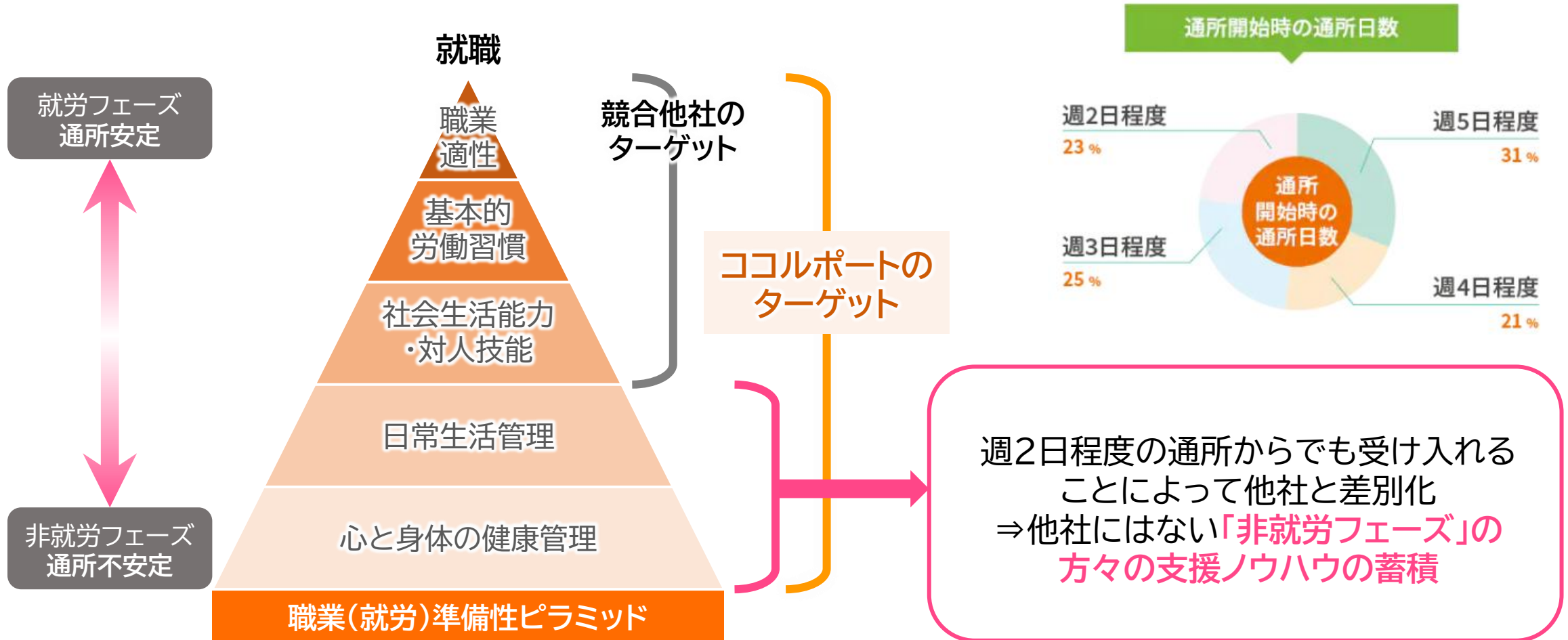
ご利用者様お一人おひとりに
適した支援を提供

例:訓練プログラムは現在600プログラム以上



「非就労フェーズ」まで幅広く受け入れ、ターゲットを拡大

- ・「非就労フェーズ」まで受け入れ、障がい者の方々が生き生きと働ける人生を支援。
- ・より大きな潜在市場である「非就労フェーズ」を取り込むことに成功。



「幅広い受け入れ」を可能にする経営資源

「幅広い受け入れ」を可能にする経営資源が存在

- ① 600種類以上の多種多様な訓練メニュー(プログラム)
- ② 多様なニーズに応えるeラーニング
- ③ 週2日程度の通所からでも就職、そして就労定着まで導くことができる人材とノウハウ(企業文化・風土)

⇒非就労フェーズの方も含めて幅広く受け入れていても、業界最高水準の就職実績。

① 555種類以上の多種多様な訓練メニュー(プログラム)を提供

パソコン

- Word
- Excel
- PowerPoint
- タイピング
- データ入力
- アンケート入力
- ビジネス文書
- PC検定対策
- MOS
- 販促チラシ作成
- ビジネスメール
- HP作成

ビジネスマナー

- ビジネスマナー
- オフィスカジュアル
- 電話対応
- 来客対応
- お茶出し
- 名刺交換
- 挨拶
- 敬語
- 身だしなみ
- 報道相
- タスク管理
- メイク講座

セルフマネジメント/コミュニケーション

- SST(社会生活技能訓練)
- 「聴く」「伝える」「話しかける」...
- JST(職場対人技能訓練)
- 「質問する」「報告する」「謝る」...
- グループディスカッション
- アサーショントレーニング

模擬就労

- ブラグタツ組立て・解体
- ピース袋詰め
- ボールペン組立て
- DM宛名書き
- CD検品
- 領収書・納品書・請求書作成
- 伝票整理

就職活動

- 職業適性検査
- 職種研究
- 企業研究
- 企業実習
- 合同就職面接会
- 履歴書・職務経歴書作成
- 模擬面接

運動/リラックス/余暇

- ダンス
- 農作業
- ウォーキング
- 音楽療法
- アロマテラピー

② 多様なニーズに応える eラーニングを提供

マイクロソフトオフィス講座

- Word【基礎/応用】
→ MOS Word 攻略問題
- Excel【基礎/応用】
→ MOS Excel 攻略問題
- PowerPoint
→ MOS PowerPoint 攻略問題
- Access【基礎/応用】

プログラミング講座

- コンピュータ概論
- C言語
- JAVA
- SQL
- PHP【基礎/応用】

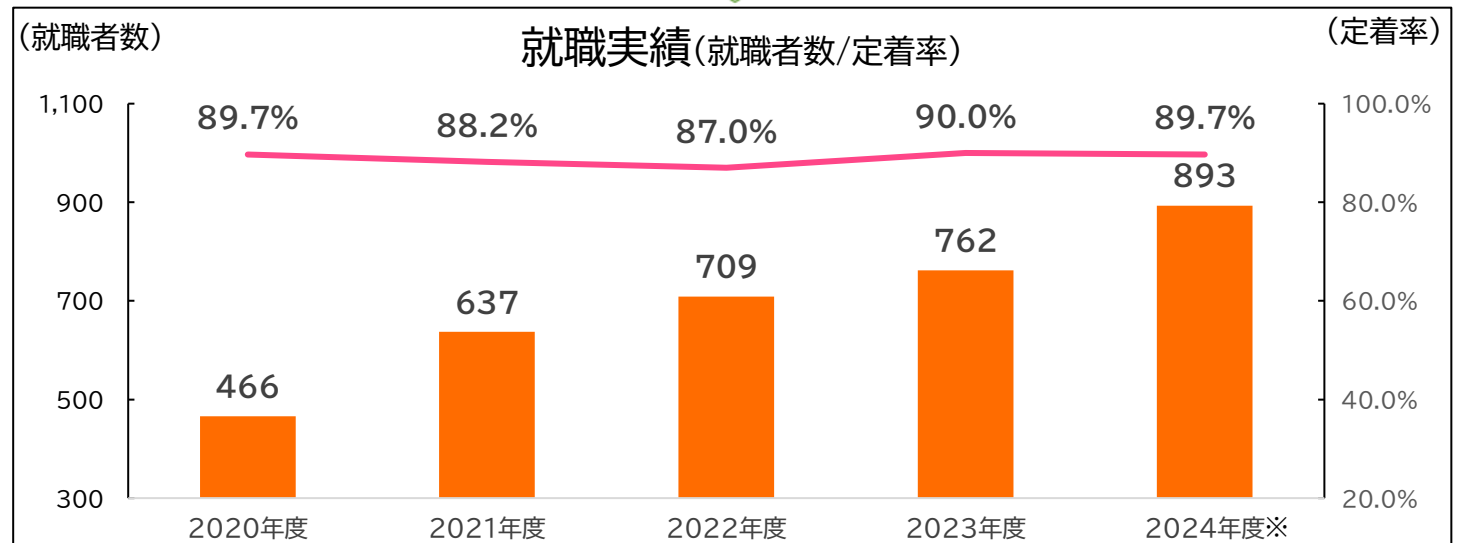
アディ講座

- HTML【基礎】
- Illustrator【基礎/応用/CS5等】
- Flash【基礎/応用/CS5等】
- Photoshop【基礎/応用/CS5/CC2021等】
- Dreamweaver【基礎/応用/CS5等】

その他講座

- パソコン基礎(タイピング練習)
- 簿記3級
- ビジネス英会話
- 中国語入門(初級)
- ステップアップ中国語講座
- 就職活動対策講座
- ビジネスマナー
- 女性の為のおごととマナー講座
- 個人情報保護対策
- セクハラ対策

③ その時々「体調」「悩み」「希望」等を支援員と相談しながら、カリキュラムをお一人おひとりに適した状態で提供



※4月～3月までの期間

『個別』と『支援』を可能にする人材マネジメント

<仕組み/制度>・エントリーマネジメント ・行動指針の浸透を目的にした定期的コミュニケーション
・理念行動指針に沿った人事制度 ・教育研修制度の充実 ・福利厚生の実施による社員還元

新卒/中途



企業理念

私たちは一人ひとりの可能性を信じ、
自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。

私たちは一人ひとりが様々な可能性を持っていることを知っています。
そして、一人ひとりの自分らしさと笑顔あふれる社会を、
関わる全ての人たちと共に創り上げていきたいという願いを企業理念としています。

行動指針

1. 安心される存在となる
2. 一人ひとりに寄り添う
3. 小さな変化を捉える
4. 気づきの機会を提供する
5. 自己決定を尊重する
6. どんなときも信じ続ける
7. 創意工夫を重ねる
8. チャレンジを講じる
9. ひとりの壁をチームで超える
10. 自らを磨く
11. 正しいことをする

人事制度



Cocorport 11

ココポートイレブン

エントリー
マネジメント

行動指針の浸透



成長ドライバー

(見えないからこそ)
競争力の源泉

障がい者福祉の当たり前を当たり前に行う
企業文化・風土

教育研修

- 教育研修
 - ◆新人研修(事業所配属前)
 - ◆フォローアップ研修(入社後の約半年間)
 - ◆支援の振り返り研修(入社後1年経過時、3年以上経過時)
 - ◆スキルアップ研修(セルフケア研修)
 - ◆新任マネージャー研修
 - ◆サービス管理責任者・マネージャー・エリアマネージャー対象研修(外部講師による人材育成に関する研修)
 - ◆グロービス研修
 - ◆グロービス学び放題
 - ◆虐待防止研修
 - ◆個人情報保護研修
- 動画研修
 - ◆就労定着支援サービス研修「はじめての就労者支援」
 - ◆計画相談支援とは
 - ◆各種精神疾患等

福利厚生

- 福利厚生
 - ◆賞与制度
 - ◆半期表彰制度
 - ◆ナイスチャレンジ制度
 - ◆従業員持株会
 - ◆資格取得支援制度
 - ◆育児短時間勤務制度
 - ◆育児時差出勤制度
 - ◆時差出勤制度
 - ◆早帰り制度「どろんカード」
 - ◆子の看護・介護休暇
 - ◆リフレッシュ休暇制度
 - ◆手当
 - ・住宅手当(15,000円/月)
 - ・扶養手当(1人目:15,000円/月、2人目以降:5,000円/月 ※3人まで)
 - ・資格手当:5,000円(社会福祉士、精神保健福祉士など対象資格を1つにつき)

支援のレベルアップを意図して資格取得支援制度を設置。
加えて資格手当も支給。

有資格者		人数
福祉系	社会福祉士	115
	精神保健福祉士	78
	介護福祉士	102
	作業療法士	9
心理系	臨床心理士	5
	公認心理師	20
キャリア系	キャリアコンサルタント	32
	産業カウンセラー	25

2025年9月末時点
※従業員数:787名

② 経営資源の効率的な活用を企図した「ドミナント展開」

- ・「福祉の基本的な考え方」に基づいた業務遂行(非効率)のため、経営資源を効率化。
- ・効率的な集客、人的資源の最大化、情報の有効活用等のメリットを享受。

営業活動の効率化 (福祉特有の地域連携強化)

- 地域内の社会資源(公的機関、医療機関、支援機関等)に対して効率的な営業活動が可能
- その結果、域内における認知度は向上し、問い合わせは増加(集客効果)

人的資源の最大化

- 「採用」の効率化
- 「教育」の効率化
- 「人員配置」の効率化
- 「サポート体制」の効率化

情報の有効活用

- スピーディーな情報流通
- ドミナント内で人材交流を促すことで、人の異動と同時に情報の流通も意図的に促すことが可能

- 本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものになります。
- 本資料は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。



Cocorport

<企業理念>

私たちは一人ひとりの可能性を信じ、
自分らしさと笑顔あふれる社会を共創します。